

此種ノ學校ハ農商務省ニ屬スルモノ多シ乃チ技術院、技術學校「クリューズ」時計學校、上等商法學校及ヒ職業教場等ノ如キハ皆其管轄ニ屬スルモノナリ

技術院ニ於テハ時々講義會ヲ開キテ專ハラ學術ヲ工業ニ實施スルノコトヲ説キ内外人ヲ論セズ何人ニテモ無料ニテ聽聞スルヲ許ルス年々聽聞人ノ數ハ凡ソ十六萬人アリ

技術學校ノ設ケアルハ木細工、鐵細工等ノ匠工ヲ鑄成センカ爲メニシテ其數二ツ乃チ「シヤ」  
「ロンシユールマルヌ」  
「アンジエール」及ヒ「エーキス」ノ三所ニ在リ各三百人ノ寄留生徒ヲ容ル生徒ハ試験シテ後入校スルヲ許ルス其年齡ハ十五歳以上十七歳以下ト定メ在校期限ヲ三ケ年トス教科ハ講理科實業科ノ二ツアリ講理ノ科目ハ算術、幾何學、代數學、三角術、「ゼ」  
「メトリ」  
「デ」  
「クリ」  
「プ」  
「チ」  
「ーブ」  
「機械學、窮理學、化學、園藝學、地理學、文法、記簿法等ナリ實業ノ科」  
日ハ第一指物、雛形、第二鑄物第三鍛冶第四ハ仕上ケ細工ナリ此四科ヲハ一日ニ七時間ツ、各其工場ニテ實地ニ學フトス

「クリューズ」時計學校ハ袖時計ノ製造人及ヒ掛時計ノ製造人或ハ修理人等ヲ鑄成スル爲メニ設ケタルモノナリ生徒ハ皆外來ニシテ其數八十名ヲ限ル年齡ハ十四歳以上二十歳以下ト

定メ試験ノ上入校ヲ許ルス年限ハ二年トス

上等商法學校ハ巴里、里昂、馬耳塞、リール、ボルドー、ルーアン、ハーブル、等ノ各處ニ在リ巴里府ノ學校ハ商法會議所ノ管理ニ屬セリ其他モ亦商法會議所ヨリ資金ヲ與ヘ保護ヲナスト雖モ皆豪商等ノ私立セシモノニ係レリ學期ハ皆概シテ三ケ年トス

此校ノ趣意タルヤ一商社ノ長タルカ又ハ長商タルベキ學識ヲ備フル者ヲ養成スルニ在リテ教科ニハ商法規則、慣例商法律、究理化學、原質物研究、外國語學、算術、記簿法、圖畫、商品研究、荷積規則、保險規則等ノ諸目アリ科目ノ改正増補ハ各學校ノ自由ニ附シ大學校ト雖モ官府ト雖モ更ニ關涉スルコトナク官ヨリハ年々議院ニテ決定シタル金額ヲ送附シテ補助スルマテノコナリ

此學校ハ近來佛國ニテ次第ニ盛大ナルノ勢アリ生徒ノ卒業マテ學科ノ試験ハ勿論或ハ外國ニ旅行等ヲモナサシメ而シテ卒業ノ後證書ヲ與フ

技術教場ハ小學ノ教科ヲ卒リタルモノニ（男女ヲ論セズ）機械學又ハ其他ノ學術ヲ實地ニ教ユル爲メニ設クルモノナリ其制ハ其地ノ模様ニ應シテ同一ナラズ多クハ私立會社又ハ州邑廳或ハ



平民等ニテ扶助スルモノナリ教科ノ主目ハ工業上或ハ美術上ノ圖畫ヲ教ユルニ在リ  
年々各所ニ競争會アリ博覽會アリ或ハ工藝會社等ノ設ケアリテ漸々此種ノ教場ヲ盛大ナラ  
シムルニ至リ將來ニ有益ナルヤ頗ル大ナルベキナリ

大學

大學校ニモ亦公立ト私立ノ兩種アリ「コレージュ、ド、フランス」上等博物學校、諸藝學校、礦山  
學校乃チ是レナリ

大學校ニハ元ト私立ノモノ無カリシカ千八百七十五年七月十二日ノ布告ニ由リテ初メテ之  
レヲ許シタリ

凡ソ大學校ニ五種ノ別アリ第一種ヲ神學トシ第二ヲ法律學トシ第三ヲ醫學トシ第四ヲ知學  
第五ヲ文學トス

大學校卒業ノ生徒ニハ得業生大得業生及ヒ學士ノ階級ヲ與フ  
正則ニ隨ヒ入校スル生徒ノ外何人タリトモ隨意ニ聽講スルヲ許ルス故ニ大學校ノ處務自カ  
ラ分カレテニツトナル一ハ正則ノ生徒ニハ卒業ノ上各其學級ヲ與ヘテ其職ニ就カシムルナ

リ其二ハ外來ノ聽講生ニハ各其聽ク所ニ應シテ其學ヲ長セシムルナリ

又大學ノ教師ニハ三種ノ稱呼アリ第一ヲ博士ト云ヒ第二ヲ博士試補ト云フ乃チ博士ヲ補助  
スルモノ第三ヲ司講ト云フ博士ノ命ヲ奉シテ生徒ヲ教導スルモノナリ

近時大學校中ニ政府ヨリ三百名ノ「ブールス」ヲ設ケテ學資ニ乏シキ窮貧ノ生徒ヲ教育ス

天主教神學大學校

此校ハ巴里、エーキス、ボルドー、里昂<sup>ルーアン</sup>、路安、ノ五ヶ所ニ在リ其學科ハ左ノ如シ

教法 修身 聖經 宗教史 ヲブリ 語學 能辨 宗教法律

耶蘇新教神學大學校

此學校ハ「モントーパン」「巴里」ノ二ヶ所ニ在リ其學科ハ

宗教史 聖經論解 性理 羅甸 語學 ヲブリ 語學 教法 修身 能辨

法律學校

此學校ハ全國中十二ヶ所ニ在リ巴里、エーキス、ボルドー、カアン、グレノーブル、リヨン、ボワ  
チエー、ナンシー、ランヌ、及ヒツールーズ等ナリ其學科ハ十二校皆同シ乃チ



羅馬法律 民法 訴訟法 刑法 商法 政治法 經濟學  
等ナリシ近時ハ左ノ四科目ヲ増補セリ

パンデクト(羅馬法典ノ名) 註解 工業法 各國法律比較論 法律沿革論

法律學校ノ内諸科ノ外更ニ左ノ四科ヲ加フルアリ

慣習法 封建法 萬國公法 海上法律

大學校教師ノ數ハ大抵十名乃至二十名ナリ

千八百七十七年ニ卒業生徒ノ數左ノ如シ

得業生 千二百四 大得業生 千〇四 學士 百六  
十四名 十三名 十名

醫術大學校

此校ハ巴里、モントペリエー、ナンシー、リール、リヨンノ五ヶ所ニアリ科目ハ

醫學上究理 醫學上化學 製藥學 解剖學 治療法及ヒ機械施用法 施術  
産科及ヒ婦人病學 藥物學 植物學 博物學 養生法 法律上醫學及ヒ毒藥  
學 病理解剖及肌肉論 醫學史 狂病論等ノ諸科ナリ

此外病院醫ニハ小兒科 梅毒科 眼科ノ三科ヲ設ケテ教ユ  
醫學校ノ學級ハ二ツアルノミ第一ヲ學士トス此級ヲ受クルモノハ全國中何ノ地方ヲ問ハス  
勝手ニ開業スルヲ許ス第二ヲ下等醫トス此級ヲ得ルモノハ其州限リ開業ヲ許ルスモノトス  
千八百七十七年ニ學士ノ級ヲ得タルモノ七百〇五人下等醫ノ級ヲ得タルモノ百二十五人ア  
リタリ

上等製藥學校

此校ハ巴里、モントペリエー、ナンシー、ノ二所ニ在リテ其科目ハ

製藥 有機化學 毒藥學 應用究理 博物學 植物學

等ナリ

學級ハ一等製藥師ト二等製藥師ノ二ツアリ千八百七十七年ニ一等製藥師トナルモノ九十七  
名二等製藥師トナリシモノ三百五十二名

一等製藥師ハ全國到處營業スルヲ得ルト雖モ二等製藥師ハ其州限リトス

此外醫學校アリ此校ニテハ下等醫ト二等藥師トノ二級ノ外ハ與フルヲ得ザルコトス



文學大學校

全國中ニ十五校アリテ其科目ハ

佛國古文 外國古文 能辨學 性理學 歷史 地理 考古學

等ナリ

千八百七十七年卒業ノ生徒左ノ如シ

得業生 三千三百 大得業生 百五 學士 二十

知學大學校

此校モ亦全國ニ十五アリ科目ハ

數理學 機械學 天文學 動物學 植物學 地質學 金石學 究理學  
化學

等ナリ

千八百七十七年ニ得業生

二千六百 四十九名

大得業生

百五 十名

學士

十七 名

ヲ得タリ

私立大學校

私立大學校ノ建設ハ千八百七十五年七月十二日ノ布令ニ由リテ始メテ政府ノ許可ヲ得タリ故ニ其組成ハ皆政府ノ大學校ニ倣ヘリ

私立大學校ノ生徒ニシテ學級ヲ受クルモノハ特別考試官ノ試驗ヲ經サルヲ得ズ

特別考試官ハ公私兩立學校ノ博士ヨリ成立シ其官長ハ必ス公立校ノ博士ニ限ルモノトス

私立大學ハ佛國中巴里、リール、リヨン、ツール、ノ四ヶ所ニ在リテ各法律、知學、文學ノ三科ヲ

兼ヌ

リール府ニハ又醫學一科ノ大學校アリ又「アンジエール」府ニハ法律學ト知學トノ大學校アリ

千八百七十七年ニ考試ヲ經テ卒業セシモノ法律科得業生 五十名 同大得業生 九名 文學科大得業生

一名ナリ

以上私立校ノ外ニ上等ノ學科ヲ教ユル私立校アリコレハ全ク政府ノ大學ト体裁ヲ異ニスル

モノニテ現時ハ只巴里府ニ在ル政治學校ノミナリ

以上記スル所ハ專ハラ佛國教育ノ形況ニ係ル外國モ亦教育部ニ出品セシ者多ク澳、露瑞等

頗ル盛ナリシカ其中最モ完全ナルハ白耳義トス



故ニ同國學制ノ大畧ト諸種ノ學校ニ于スル統計ヲ左ニ舉ク  
同國ニ於テ教育ノ自由タルベキヲ載セテ憲法第十七條ニ在リ  
小學校ハ各邑必ス一所ヲ設クベシ私立小學數校アリテ公立ヲ要セザル時ハ之レヲ設ケザル  
モ可ナリ

貧困ノ子弟ハ謝金ヲ納ムルニ及ハズ

小學ハ必ス左ノ數科ヲ教ユベシ

信教及ヒ修身 度量衡ノ制 算術

佛語獨乙語「フラマン」語ノ内一科（土地ニ寄リテ異ナリ）

信教及ヒ修身科ハ各校生徒多半ノ奉スル宗教ノ僧徒之レヲ授クベシ餘ノ生徒ハ出席スルト  
否ト自由タリ

學校ノ教授及ヒ管理ノ形况ヲ視察スルハ邑官及ヒ視學ノ任ニシテ信教及ヒ修身科教授ノ摸  
樣ヲ視察スルハ僧徒首長ノ委員ニ任ス

小學ノ經費ハ邑費トス邑力ニ越ユル分ハ州或ハ時宜ニヨリ政府ヨリ之レヲ給ス

三ヶ月毎ニ一縣内各邑ノ小學教師集會シテ教育ノ盛衰ニ于スル一切ノ事件ヲ協議ス  
小學師範科ハ政府ノ師範學校或ハ官許ヲ得タル私立師範學校ノミニテ之レヲ教ユ  
官立中學校ハ上等下等ノ二種ニ分ツ上等十ヶ所下等五十ヶ所アリ  
州邑ハ中學校ヲ設クルト自由ニシテ其科目ハ官立ニ同シク且ツ教科書、學則、歲出入等政府  
ノ允可ヲ得ルモノニハ政府ヨリ補助金ヲ與フルトアリ  
上等中學校ニハ普通専門ノ二科ヲ設ク  
下等中學ニハ預備科ヲ附シ小學科目ヲ教ユルコトアリ  
官立大學校ハ二ヶ所ニシテ「ガン」及ヒ「リエーシユ」ニ在リ其科目ハ  
性理 文學 知學 法律 醫學トス  
千八百七十五年十二月ノ調査ニ由ルニ白國公私學校及ヒ生徒ノ員數左ノ如シ  
小學校 五千五百八十七所  
生徒 六十五萬二千六百五十七人  
幼稚學校 九百二十九所



|            |             |
|------------|-------------|
| 生徒         | 九萬七千三百八十二人  |
| 壯年學校       | 二千七百十六所     |
| 生徒         | 二十萬四千六百七十三人 |
| 師範學校       | 三十八所        |
| 生徒         | 二千四百十五人     |
| 恩惠教育場      | 四百三十所       |
| 生徒         | 二萬二千百八十一人   |
| 育養啞孤兒及懲戒學校 | 百一所         |
| 生徒         | 七千四百四十四人    |
| 家塾         | 二百七十所       |
| 生徒         | 一萬六千五百三十五人  |
| 合計校數       | 一万〇〇七十一所    |
| 生徒         | 百萬二千九百八十七人  |

|             |           |
|-------------|-----------|
| 中學校         | 百九十八所     |
| 生徒          | 三萬六千三百十三人 |
| 師範學校        | 五所        |
| 生徒          | 四十五人      |
| 大學校         | 十四所       |
| 生徒          | 二千三百八十六人  |
| 技術工商學校      | 三十六所      |
| 生徒          | 八千五百九十二人  |
| 宗教學校        | 七所        |
| 生徒          | 九百十五人     |
| 兵學校         | 百十所       |
| 生徒          | 一萬三千百四十一人 |
| 商法上等學校並航海學校 | 四所        |



生徒 二百七人  
 農學校 百八十四所  
 生徒 一萬八千八百六十一人  
 美術學校 三百十九所  
 生徒 一萬二千八百五十六人

以上ノ統計ニ由レハ白國各種ノ學校ハ一萬〇九百四十八所ニシテ生徒ハ百〇九万六千三百〇三人乃チ全國民口五分ノ一二當ル

大中小學經費ノ全額ハ千八百六十二年ヨリ同七十三年マテノ間二億〇九百〇五万三千二百十六佛十六仙ニ及ベリ

本年六月中白國議院改選ノ舉アリシ時進歩黨ノ執政之レニ代ハレリ此時マテ學務ハ內務省中ノ一局ニ屬セシガ新々ニ文部ノ一省ヲ置キ大ニ力ヲ教育ニ用ユルニ至レリ蓋シ人才ヲ鑄成スルハ國家第一ノ急務タルニ同國ニテハ教育ノ權多ク僧徒ノ手ニ在レハ此權ヲ恢復スルニ非ザルヨリハ進歩黨ノ勢力確乎タル能ハザルナリ

白國ニテ益教育ヲ盛ニスルノ主意ハ本年十一月十二日議院開議ノ時其國王カ演說セシ所ニ由リテ明ラカナリ其語中教育ニ干スル三項ヲ左ニ舉ク

今ノ時タルヤ人民ノ心知ヲ開發スルヲ實ニ國家昌榮ノ基礎タリ今朕カ政府尤モ此要務ニ注意スルハ新ニ文部ノ一省ヲ置ケルヲ以テ見ルベシ

政府ノ經費ヲ以テ行フ所ノ教育ハ全ク俗官(僧官ニ對シテ云フ)ヲシテ之ヲ管理監察セシメザルベ

カラズ而シテ其要旨ハ大中小學ノ別ナク一ニ後進子弟ヲシテ我國寬裕ナル制度ノ主義ヲ愛敬スルノ風ヲ長セシムルニ在リ朕カ政府ハ此教育ヲ皇張スルガ爲メ將サニ各位ノ協贊ヲ乞ハントス抑モ教育ヲ改良擴張スルノ事案ハ會期ノ能ク議シ盡スベキニ非ラザルハ明カナリト雖モ不日各位ニ下附スベキ法案ヲ見ハ政府ガ各位ト相助ケテ達セント欲スル方尙瞭然タルベシ

國民ノ智識ヲ開キ以テ其心ヲ固クスルハ普通教育ノ用ナリト雖モ美術ヲ進歩セシメ農工貿易ニ干スル職業ヲ勸奨スルハ專門教育ノ力ナリ故ニ朕ガ政府ハ國人ヲシテ其性ノ長所ヲ發達スルノ方法ヲ得セシメントスルニ切ナリ我白國人ハ此諸科ニ於テ長所ヲ顯ハセシ



「甚タ多シトス」

白國教育部中政府出品ノ外又頗ル緊要ナルモノアリ天主教僧徒ノ一社タル「フレール、デ、ゼ  
ユール、クレチエンヌ」ハ別ニ一區ヲ占メ夥多ノ物品ヲ陳列ス算術ヲ教ユル道具、圖書及ヒ地  
圖類ハ甚タ良好ノモノタリシ「リエーシユ」府ノ出品ハ幼稚學校、小學校、女子職業學校ニ屬ス  
ル諸品ニシテ皆亦宜シ教育會社モ亦一室ヲ占メ學堂内部ノ雛形ヲ示シ一切ノ器具ヲ陳列シ  
テ甚タ見ルベキモノアリ此社ハ進歩黨ノ輩相結ンテ設立セシモノトス外ニ或ハ學校ヲ立テ  
或ハ他ノ學校ヲ補助スルモノアリテ勉メテ俗家ノ教育ヲ弘メ僧徒ノ權ヲ殺カント企テリ  
「カラマン、シメー」公ノ創建セシ家内經濟學校ハ專ハラ女子ニ齊家必要ノ手業ヲ教ユルノ主  
意ニテ學校ノ雛形書類等ヲ出品スコレハ他國ノ出品中ニ見ザル所ナリ  
教育ノ事タルヤ固ヨリ大ナリ故ニ歐米各國百方其皇張ヲ計ラザルハナシ今度ノ會ニ各國刊  
行ノ冊子中教育ニ干シテ極メテ緊要ナルモノ少ナカラズト雖ヒ細目ニ涉ルハ此書ノ主意ニ  
非ラス故ニ爰ニ譯述セズ文部省委員九鬼氏ノ報告書ニ詳ラカナルベケレハ就テ見ルベシ

印刷術

印刷術ハ大別シテ三種トス第一活字版第二銅版第三石版

佛國ニテ活版ノ尤モ盛ナル地方ハ巴里ルアンツール、路安ルアンツール、通耳ルアンツール、リール、リヨン、等ノ諸府ニシテ千八百七十  
年活版師ノ專賣ヲ廢止セシヨリ各州ニテ新ニ其業ヲ營ムモノ甚タ増加セリ  
石版ノ業モ亦日月ニ進歩セリ現今其工場ハ千七百二十五ヶ所其中五百所ハ巴里ノ一府ニ在  
リ餘ハ各所ニ散在ス巴里府ニテ役スル匠ノ工人ハ男四千八百人女六百人各州ニテハ男五千  
二百人女千五百人ニシテ十年來三分ノ一ヲ増セシ割合ナリ石版ニ用ユル石ハ往時專ハラ獨  
乙ノ輸入ヲ仰キシガ爾後「ウイガン」ラアン「シユラ」タルン、エ、ガロンヌ」等ノ石坑ヲ發見セ  
シヨリ國產ヲ用ユルヲ過半ニ及ベリ近來石版機械ヲ用ユルヲ日ニ盛大ニ赴キ石版ノ業面目  
チ一新シ殊ニ彩色ヲ爲スニ至リテ其美麗ナル最モ驚クベキモノアリ  
銅版ハ巴里ヲ以テ第一トス工場全數百九十九所ノ内百十九ハ「セーヌ」一州（巴里府モ此州ニ屬ス）ニ  
在リ他州ニ在ルモノハ只八十所ニ過ギザルナリ  
石版畫、銅版畫トモ重モニ自國ニテ賣買スト雖ヒ美術ニ干スルモノハ外國ニ輸出スルヲ少  
ナカラズ油畫ヲ摸スルモノハ南北亞米利加ニ建築學ニ屬スルモノハ獨、以及ヒ英ニ宗教ニ



干スルモノハ以國ト西國トニ輸出ス

印刷術ハ其機械ヲ現ニ會場ニ出シ運轉使用セリ就中石版尤モ盛ニシテ機械ノ數ハ十有餘臺ニ及ベリ然レモ其製ハ大抵相類シ別ニ新奇ト稱スベキモノヲ見ス唯引札等ノ如キ細小品ヲ印刷スル小機械ハ六種ノ色ヲ一時ニ印シ得ベキモノアリ頗ル便且ツ巧ト云フベシ

外國部石版畫ヲ陳列スルヲ亦甚タ多シ英ハ機械ヲ出シテ現業ヲ示セリ同國ニテハ「イソラント」及ヒ「ウエールス」二州中石版業トスル者三千七百八十五人ナリ故ニ全國ヲ合スレハ四千人以上ナルベシ毎年石版ニ用ユル石ヲ輸入スルヲ一萬乃至一萬六千「キヤンタル」一「ヤンタル」ハ「百」ナリト云フ「ポンド」ニ當ル

紙類

紙ノ種類ハ實ニ無數ニシテ其價モ之レニ應シテ高下一ナラズ砂糖ナドヲ包ムニ用ユル最下等ノ紙ハ「百」キログラムニ付四十佛ニ當リ寫真用上等紙ノ價ハ「百」キログラムニ付四百佛ナルカ如シ千八百七十三年ニハ佛國中ニテ紙ヲ製スル州七十一而シテ製造場ノ數ハ惣計五百〇九ヶ所ナリ

製紙ノ原質ニ綿、麻布ノ古切レヲ用ユルハ善ク人ノ知ル所ナレモ近來ニテハ古切少ナク價隨ツテ騰貴セルコヨリテ木ヤ藁ヤ或ハ「アルハ」等ヲ併セ用ユルヲ漸ク盛ナルニ及ヘリ職人ノ數ハ千八百六十八年ノ頃ニハ三萬四千人ナリシカ千八百七十三年ヨハ減シテ二萬五千九百十八トナリ又千八百七十五年ニハ二萬六千七百七十八人ニ増加シタリ其内一萬人ハ女子ニシテ三千人ハ小兒ナリ

器械ノ力ハ惣製造所ヲ合シテ一萬九千六百七十四馬力ナリシカ(千八百七十二年中)現今ハ二萬三千八百八十馬力ニ増シタリ斯ク器械ヲ増加セシニ由リ職人ノ數ハ從前ヨリ減少シタルナリ千八百七十五年中ニ消費シタル紙ノ數ハ百五十萬「キヤンタル」(佛量ニキヤンタルハ「百」キログラムニ當ル)ナリ其五分ノ三ハ上等ノ白紙ニ屬シ五分ノ二ハ下等ノ包紙等ナリ此代價ヲ細カニ算スルハ百分ノ五十八原質古切ノ代價ニ當リ百分ノ十八ハ附属品ノ代價ニシテ又凡ソ百分ノ十八ハ手間代トス

千八百七十五年中ニ製出ノ惣計ハ九千七百七十萬千六百六十四佛ナリ其内外國ニ輸出シタルモノハ千〇二十四萬三千八百九十二「キログラム」此價千四百六十萬千八百八十六佛ナリ輸



入シタル高ハ百四十七萬七千二百八十六「キログラム」ニシテ此價二百十二萬九千九百五十  
九佛ナリ

染紙摸樣紙ノ類ハ第三大區第二十二小區ニ屬スト雖也今左ニ略記シテ以テ讀ム者ニ便ス  
佛國染紙ノ製造ハ全ク巴里府ニ限ルト云フモ不可ナルヲ無シ

此工業ハ千八百六十七年以來駸々進歩シテ止マス故ニ其用ユル原質ハ皆自國ノ物ヲ用ヒテ  
外國ノ輸入ヲ仰カス

精工ノ品ニテ工費ヲ要スルモノハ染臺ニテ手製スルヲ猶從前ノ如シ其臺ノ數ハ大ニ増加セ  
シニ非ス大抵七百乃至八百個ナリ

機械ニテ製造スルノ法ハ大ニ進歩シ其法頗ル精微ニシテ賣却ノ高極メテ多シ  
十年來ノ製出高ヲ平均スル所ハ凡ソ一ケ年二千萬佛ナリ其三分ノ一ハ外國ニ輸出ノモノト

ス  
千八百六十七年ニハ一「キログラム」ノ價平均ニ佛二十仙ナリシカ現今ニテハ三佛八十五仙  
ニ至レリ

千八百六十七年ニ比スレハ方今輸入高ノ多キハ殆ント一倍セリ當時ノ輸入高ハ四十五萬佛  
ナリシカ現今ハ百萬佛ニ至ル重モニ英國「アルザス」ローレヌ」及白國等ヨリス

摸樣紙ノ製造ハ千八百六十七年以來頗ル盛ニ起レリ石版紙、寫眞紙等ノ如キモ亦其以來ニ  
盛ンナリシナリ

佛國中摸樣紙ノ製造所五十ヶ所ニアリ器械ノ數ハ百四十職人ノ數ハ七八百人ノ間ニ在リテ  
巴里府中最モ盛ンナリ職人ノ給料ハ一日平均シテ大人ヲ六佛トシ小兒ヲ一佛半トス一年中  
製出ノ高ハ七百萬佛其五分ノ一ハ輸出ニ係ル原質物ハ皆自國ノ産ニシテ外國ニ仰クヲ無シ  
製造高ノ増加シタルハ其法ノ進歩セシト機械ノ改良セシトニ在リ就中光澤出シ器械、摩擦  
器械、著色器械等最モ改良セシモノナリ

外國中紙ノ出品多キハ英、白、澳、典等トス  
千八百七十六年ノ調査ニ據レハ英國製紙場ノ數三百八十所外ニ愛蘭ニ十二所アリ  
千八百六十七年並七十六年英國ノ製紙輸出入ノ金額ヲ左ニ示ス其輸入ハ重モニ白、典等ヨ  
リス



| 年 號     | 輸 入<br>ポンド | 輸 出<br>ポンド |
|---------|------------|------------|
| 千八百六十七年 | 四四七、七〇一    | 五六九、四二八    |
| 千八百七十六年 | 六三一、六九〇    | 八五四、四五八    |

英國ニ輸入スル製紙原質物ノ種類及ヒ價額ヲ擧ケテ左ニ示ス

| 品 名            | 千八百六十七年 |         | 千八百七十六年 |           |
|----------------|---------|---------|---------|-----------|
|                | 噸 數     | 價 ポント   | 噸 數     | 價 ポント     |
| 綿 布、麻          | 一八、四〇七  | 三六五、二九三 | 一三、九二七  | 二二九、九七二   |
| 布 屑            | 五五、〇七三  | 二六〇、五八一 | 一三〇、八九一 | 一、〇四六、四四九 |
| 「アルファ」及<br>他纖維 | 七〇四     | 八、〇九一   | 一六、六二七  | 一六七、四四七   |
| 古切其他<br>ノ物質    | 七四、一八四  | 六三三、九六五 | 一六一、四四五 | 一、四四三、八六八 |
| 合 計            |         |         |         |           |

白國モ製紙ノ工業頗ル盛ニシテ巨大ノ工場ヲ有スル地方少ナカラス就中「ニウエル」府ヲ以テ第一トス摸樣紙ノ類ハ專ハラ「キユルコハウト」府ニ於テ製出ス「ウイルブロック」及ヒ「ウイゼー」ノ兩地ニハ木藁等ノ原質ノミヲ製スル大工場アリ之レヲ概スルニ白國産出ノ内自國

用ニ供スルハ三分一ニ止マリ餘ノ二分ハ外國ニ輸出ス就中英國ニ多シトス  
 澳國製紙場ノ數ハ百四十四所外ニ水車ヲ用ユル小工場七十所一年ノ製造高凡ソ七十萬「キアントル」ナリ

典國製紙ノ工業ハ近來大ニ増加シ千八百七十六年ニハ輸出ノ額一千百萬斤ノ多キニ至レリ然レモ同國ニテ尤モ盛大ナルハ製紙ニ用ユル木屑ヲ製スルコトニシテ千八百七十六年ニハ其輸出一千四百萬斤ニ上レリ最大ナル工場ハ「トローレルヘッタン」ニ在ルモノニシテ「ローゼンダール」會社ニ屬ス蓋シ同國ハ山林多クシテ原質ニ富ミ水流多クシテ水車ヲ用ユルノ便アレハ木紙製造ハ實ニ緊要ノ位地ヲ占ムルナリ

工業美術

前條記スル所ノ外尙ホ極メテ緊要ナルモノアリ第十一小區ニ陳列セル物品ニシテ圖書及ヒ摸造術ヲ工業ニ施用スルコト乃チ工業美術ノ効用ヲ示セルモノトス蓋シ工業ハ知學ト美術トニヨリテ成立スルモノニシテ二ツノ者一モ之レヲ欠ク能ハス凡ソ物品ニハ實用ノ便ヲ主トスルモノト或ハ外觀ノ美ヲ先ニスルモノトアリ便ヲ主トスルハ專ハラ知學ニ屬シ美ヲ先ニ



スルハ專ハラ美術ニ屬スト雖ヒ畢竟二ツノ者ハ共ニ工業ノ本トナリテ相離ル可カラサルナ  
 リ「ラブーレー」氏工業美術篇中知學ノ要ヲ述ヘ美術モ亦欠クベカラサルヲ論シタリ其論ニ  
 曰ク知學ト美術トハ工業ノ兩極ニシテ如何ナル製品ニ論無ク二ツノ者ノ關係極メテ親密ナ  
 リ物品ハ便ト美トヲ兼テサルベカラス之レヲ兼テント欲セハ知學ト美術トヲ借ラサルヲ得  
 ス故ニ美術ハ製作上大ヒナル關係アリ時トシテハ其要知學ニ過クルコトナキニ非ス工業家ハ  
 人世日用ノ物品ヲ製シテ其需求ニ應スルニ當リテヤ管ニ其便ナルヲ求ムルノミナラス又形  
 狀、大小、色彩ノ宜シキヲ求メサルベカラズ美術是ニ於テカ必要ナリ農業、冶金術、機械製造等  
 ニ關スル物品ノ如キ人身直接ノ需用ニ遠キモノハ便利ヲ先ニスベシト雖ヒ日々吾人ノ身体  
 ニ接シ其好尚ニ應スル物品設ヘハ家屋、衣服、什器ニ至リテハ觀美ヲ先ニシ或ハ全ク美ノミ  
 ナ主トスルコトアリ云々其言ノ確實ナルコト又啾々トシテ更ニ説明スルヲ要セス工業美術ハ之  
 レヲ日用物品ニ施スモノニシテ亦純粹ナル美術ナリト雖ヒ全ク日用ノ便ヲ顧リミザルカ如  
 キモノナラズ故ニ圖畫、彫刻、建築ノ三科ニシテ詩樂、舞蹈ハ與カラサルナリ工業美術ハ實ニ  
 勸工上重大ナル問題ニ屬セリ故ニ歐州各國ノ政府ニテハ私立ノ會社等アレバ務メテ之レヲ

勸獎セリ千八百五十一年英國倫敦ニ於テ始メテ大博覽會ヲ開キ當時同國物品ノ製法ハ其宜  
 シキヲ得テ便宜ナレトモ裝飾ノ一事ニ至リテ遙カニ佛國ノ下ニ出テタリ爾後大ニ奮起シ彼有  
 名ナル「サウスケンシントン」博物館ヲ設ケ又圖畫學校ヲ立テ盛ニ美術ヲ勸獎セシカ其力空  
 シカラズ英國美術上製品ノ輸出頓ニ増加シ佛國ヨリ從前輸入セシ物品ハ大ニ減シタリ之レ  
 ニ反シテ佛國ハ久シク美術ヲ以テ他國ニ超過スルヲ負ミ安然顧慮スル所ナカリシカ英國進  
 歩ノ勢ニ驚キ近時ハ大ニ勸獎ニ盡力シ依然上等ノ地位ヲ保タントス澳、白諸國ノ如キモ亦  
 頗ル此ニ注意シテ大ニ奮起スルノ勢アリ之レヲ要スルニ勸獎ノ方法ハ博物館ヲ設ケテ美術  
 工業ノ製品ヲ集メ名品ノ得難キモノハ其寫眞、圖畫又ハ模造品ヲ備ヘ且ツ要用ノ書籍ヲ集メ  
 右等ノ物品ハ衆庶ノ縱觀ヲ許スノミナラス之レヲ各地ニ貸附ケ又ハ之レガ寫眞、圖畫、模造  
 品ヲ作リテ全國ニ播布スルコト及ヒ時々博覽會ヲ開クコト又ハ美術工業ニ干スル條件ヲ講釋シ  
 テ衆庶ノ聽聞ヲ許スコト或ハ圖畫學校ヲ立ツル等ノ數件ニ在リ英國「サウスケンシントン」博  
 物館ハ字内ニ著名ナルモノニシテ各國之レヲ模範トセリ其來歴結構ハ澳國博覽會報告書博  
 物館ノ部ニ詳ヒラカナレハ略ス今澳國工業美術博物館ノ結構ヲ左ニ略述ス



澳國工業美術博物館ハ千八百六十三年三月七日ノ詔ヲ以テ創メテ之レヲ設ケタリ其目的ハ知學ト美術トニヨリテ内國ノ工業ヲ勸メ就中好尚ヲ高フスルニ在リ此博物館ハ千八百六十四年三月三十一日假リニ之レヲ開キ物品ハ宮内ノ御物ト政府、寺院、縣邑、又ハ好事家ノ所有物ヲ借リタルモノ多カリキ千八百七十一年十一月四日ヨリハ新築ノ博物館ニ移シタリ其結構左ノ如シ

第一 博物館

美術上物品

書籍并圖書

石膏摸造品

寫真工場

電鍍工場

第二 工業美術學校

第三 工業化學試驗場

博物館ハ各州ノ學校博物館并製造所ニ物品ノ摸範及ヒ圖案等ヲ下附シ又時々維府及ヒ各州ノ都會ニ於テ小博覽會ヲ開クコアリ

本館ハ時々文學美術ニ于スル書ヲ刊行シテ美術上高尚ノ論說ヲ傳布ス

此外毎月博物館雜誌ヲ公布シテ美術上ノ條件就中教育ニ于スル論說并博物館列品ノ評論等ヲ載セテ世上ニ報道ス

冬季間ハ毎週一回講釋會ヲ設ケ美術ノ沿革及ヒ原理、技術、博物學、經濟學、美術工業ニ于スル法律規則等ヲ講明シテ衆庶ノ謝金ヲ納メヌシテ來聽スルヲ許ルス

本館ニ石膏摸造場、寫真工場、電鍍工場ヲ設クルモノハ本館ノ列品ヲ增加完全スルト各地ノ學校、博物館、製造人、好事家等ヲシテ精好品ノ見本ヲ廉價ニテ買得セシムルトノ主意ニ出ツ本館ハ文部省ノ管轄ニシテ掌管ノ法左ノ如シ

第一 保護職一名 即今ハ皇族ヲイテル殿下之レニ任ス

第二 掌管院

此院ノ議員ハ保護職ノ撰任スル所ニシテ在職三年專ハラ好事家、學



者、美術家、製造人等ヨリ拔擢ス

即今合計二十二名アリ

第三 博物館長一名アイテルベルグ  
ル氏之レニ任ス

此外保存掛四名出納掛一名庶務掛一名書記掛二名ト摸造掛、電鍍掛、寫真掛、各一名ヲ置ク

本館附属ノ工業美術學校ハ千八百六十七年九月二十一日ノ詔ヲ以テ設ケシ所ニシテ其主意

ハ巧手ノ美術家并職工ヲ養成スルニ在リ千八百六十八年十月始メテ之レヲ開キ當時生徒ノ

數僅カニ四十六名ニ過キカリシカ即今ハ三百八十一名ニ至レリ

本校ニ監督委員アリテ校務ヲ監理ス委員ハ博物館ノ掌管議員二名ト維府商法會議局員一名

ヲ以テ成ル其長ハ博物館長之レヲ兼ヌ

本校ノ科目ハ十年來ノ經驗ニヨリテ之レヲ改正シ即今行フ所ノ制左ノ如シ

第一 建築學

建築ノ風、建築ノ工案并摸樣

此科ノ生徒ニテ優等ノ者ニハ美術品ノ工案及ヒ製造科ヲ教ユ

第二 彫刻學

此内別ニ彫刻及ヒ打出シ細工科ヲ設ク

第三 畫學

此内別ニ陶畫硝子畫等ノ科ヲ設ク

第四 中學校畫學師範科

是レハ中學校ノ畫學教師タラントスル者ヲ教ユルタメナリ

第五 預備科

是レハ未タ本科ニ入ル能ハサル生徒ヲ教ユ

第六 講理科

幾何學及ヒ遠近論、建築諸風論、人身窮理論、美術沿革論又ハ工業美術沿革論

澳國博物館ノ結構大畧此ノ如シ同館ノ出品ハ頗ル完備セシノミナラス澳國出品中ノ美術ニ

係レルモノハ同館ノ圖案ニ基ツケルモノ甚々多シ以テ澳國工業上ニ於テ其肝要ナルヲ推知

スルニ足ルヘシ



○第三章 第三大區家具及ヒ附屬品 硝子 陶器 金銀及ヒ銅器

家具ハ本區ノ第十七小區ニ屬ス其種類甚タ多シト雖ヒ通常大別シテ左ノ四類トス

第一 美麗ナル木片ヲ貼付セシモノト内外共ニ

第二 布帛ヲ張付ケ又ハ漆ヲ施シ或ハ其他ノ裝飾ヲ爲セシ椅子等

第三 玉突臺

第四 鐵製家具

右各種ノ家具ハ日用廉價ノモノト華美高價ノモノトノ二種ニ別ツ高價家具ノ製造ハ佛國中ニテ巴里府ノミニ限リシガ近來ハ里昂、ボルドウ、馬里塞、ナント」ノ諸府ニテモ盛ンニ製造

スルニ至レリ廉價ノ家具ヲ製スルニハ「ヘートル」榲、松、銀杏樹ノ如キ自國產ヲ用ヒ高價ノ家具ニハ「アカジュー」「パリサンドル」「チユヤ」「ローズ」「ウイオレット」等ノ外國產ヲ用ユ其價ハ百「キログラム」ニ付二十佛ヨリ七十佛トス「アンボワヌ」「アマラント」シトロニエ」楓樹及ヒ「エペルヌ」等ハ其價貴キガ爲メ容易ニ用ヒス大理石其他ノ寶石、陶器、銅器等ヲモ家具ノ裝飾ニ用ユレヒ其量多カラス

佛國ニテ毎年製出スル家具ノ全價ハ凡ソ八十萬佛其百分ノ三十三ハ原質五十五ハ工銀十二ハ雜費ニ當ル割合トス而シテ此全額四分ノ三ハ巴里府ノ一所ヨリ出ツルナリ

千八百七十五年稅關ノ調査ニヨレハ輸出ノ高ハ千八百〇四萬六千七百五十九佛ニシテ千八百六十七年ノ高ニ過ルヲ五百六十七萬二千六百七十三佛ナリ輸入ハ六十七年ニハ百二十二萬五千八百八十八佛七十五年ニハ百六十三萬九千二百五十九佛ナリ故ニ其増加ハ僅カニ四十一萬四千〇七十一佛ニ止マレリ

近來流行ノ家具ヲ見ルニ内外共ニ一樣ノ木ヲ以テ製スルモノ多シ專ハ「ラ」レチサンヌ」風及ヒ路易第十四世時代ノ風ヲ寫シテ以テ近時ノ需要ニ應スルヲ務ムルモノニ似タリ



外國部中家具ノ出品ハ英國ヲ以テ第一トス澳、以兩國ハ之レニ次ク

英國ノ家具製造ハ近來其風ヲ改メタリ千八百六十七年前ノ家具圖案ハ專ハラ外國ノ風就中佛、以兩國ヲ摸範トセシカ其後自國ノ風ニ復シ千六百年代及ヒ千七百年代ノ古風ヲ講究セリ故ニ現今製スル所ノ家具ハ「シアコピン」女王アンナ、及ヒ「アダム」時代ノ風ニ基ツク者多シ本會ニ陳列セシ家具モ佛國風ニ擬セシモノ尠ナカラサレモ概スルニ淡泊ニシテ雅致アルモノ十ノ七八ニ居レリ是レ自國ノ古風ニ復セシ効果ナリ

同國近時ノ調査ニヨレハ「イングランド」州及「ウェールズ」州ニテ家具製造ヲ業トスルモノ七万〇〇六人蘇格蘭州ニテハ七千八百五十二人愛兒蘭ニテハ五千〇二十八人アリ

瀛力ヲ用ユル製造所ハ「イングランド」及ヒ「ウェールズ」三州ニ五千〇〇一ヶ所瀛力ハ合セテ四百九十二馬力ナリ蘇格蘭ニハ十七ヶ所瀛力ハ百四十五馬力愛兒蘭ニハ一ヶ所アリ瀛力詳カナラス

澳國ハ山林多キヲ以テ家具ノ原質ニ富メリ各州都會ニテ家具ヲ製スルハ地方ノ需要ニ應スルニ止マレリ其盛ニ製出スルハ維納府ニシテ内國各地ニ輸出スルノミナラス東邦露國、獨

國等ニ輸出スルモノ少カラス千八百七十五年ノ調査ニヨレハ維府ニ大工場四十所小工場二千所職工合セテ一萬人餘アリ澳國出品中ニ木ヲ曲ケテ製シタル家具アリ亦緊要ナル一種ノ品ト謂フ可シ

此製造ヲ業トスル商會ニツアリ大工場七ヶ所小工場若干ヲ有シ職工合セテ八千人ヲ役ス製品ハ重モニ露、獨、佛、西、伯西兒等外國ニ輸出スルモノ全額四分ノ二ニ及ヘリ此製法ハ實ニ「ミカエルド」氏ノ發明ニ係レリ同氏ハ千八百二十五年ノ頃試ミニ木ヲ曲ケ家具ノ一部分ヲ製シ次テ又全部ヲ製シ漸ク其結果ヲ見ハシタリ千八百五十年ニ至リ始メテ維府ニ一社ヲ結ヒ製造所ヲ設立セリ爾來其業益盛大ニ赴キ即今大工場五ヶ所小工場十六ヶ所アリテ職工二千五百人ヲ役スト云フ

千八百七十六年ヨリ七十七年ニ至リ澳國ヨリ輸出セシ家具ノ惣計ハ四百萬乃至五百萬「フロリン」ノ價ニ及ヘリ輸入ハ之レニ比スレハ大ニ少シ

#### 硝子器

硝子器ハ第十九小區ニ屬ス陳列ノ品ニハ其製法、形容、及ヒ用法等千差万別其用ヲ論スレハ



杯盤、鑲、瓶、柱鏡、窓戶、燈臺、温室ニ用ユルモノ敷瓦ニ代用スルモノ化學試験ニ用ユル器具等ニシテ其工ヲ論スレハ彫刻ノモノアリ切り透セシモノアリ各種彩色ノモノアリ以テ硝子ノ日常需要ノ多キヲ知ルベシ

抑モ往古ハ硝子ノ用甚タ少ナカリシト雖モ其製法ハ甚タ良巧ナリシカ羅馬帝國ノ滅亡スルニ當リテ其用其法共ニ全ク衰微セリ紀元千百年代ニ至リ「ベニーズ」府ニテ盛ンニ此業ヲ起コシタレモ千六百年代ノ終リヨリ千七百年代ノ始メニ及ンテ又漸ク衰ヘタリ

「ボヘミア」國ニテハ千五百年代ヨリ盛ンニ硝子ノ製造ヲ起コシタリ  
佛國ニテ此業ノ開ケシハ千六百年代ニシテ當時有名ノ宰相「コルベル」氏始メテ「サンゴバン」府ニ製造場ヲ設ケタリ

鉛ヲ原質トシ硝子ヲ製造スルノ法ヲ發明セシハ實ニ英國ニアリ  
佛國ハ千八百三十年ノ頃「サンルイー」及ヒ「バツカラ」府ニ製造所ヲ設ケ製造ノ權ヲ專有シタレモ爾來巴里府近傍ノ數所及ヒ「パンタン」クリシ」等ニ新タニ製造所ヲ設ケタリ

クリシ」製造處ニ於テ新タニ硼素ヲ以テ製造スルノ法ヲ發明セシト雖モ硼酸ノ價ヒ高キカ故ニ其製法盛ンナルニ至ラザリシ

有色硝子ノ製造ハ中古甚タ盛ンナリシモ千八百二十五年ノ頃ハ「ボヘミア」國ノミニ止マリ佛國ニ起リシハ千八百三十七年以來ニ在リ

硝子及ヒ假水晶トモ皆珪土ヲ用ユト雖モ其混合物ニ至リテハ自カラ異ナリ乃チ假水晶ニハ珪土ニ「ポッターズ」及ヒ酸化鉛ヲ混和シテ用ヰ硝子ニハ珪土ニ交ユルニ炭酸石灰ト炭酸曹達或ハ硫酸曹達ヲ以テス

右諸原質ハ皆佛國ニ産スト雖モ鉛ハ西白及ヒ英ノ諸國ヨリ輸入ス  
諸原質ハ皆坩堝ニ盛リ石炭或ハ木炭火ヲ用ヰテ溶解混和スト雖モ瓦斯ノ火ヲ用ユル製造所モ亦多シトス

硝子製造ノ良否ハ專ハラ職人カ手術ノ工拙ニ關係シテ機械ノ用ハ第二ニ居ル然レモ鏡板等大ナルモノヲ製造スルニハ專ハラ機械ノ用ニ關係スルナリ

現今重モニ硝子ヲ製造スルノ地方ハ「メール」「エーヌ」「セーヌ」「ムールトエモゼル」「ローヌ」「ロアール」等ノ諸州ナリ



一ヶ年中製造ノ高ト輸出ノ高ト其概算ヲ左ニ舉ケ以テ其景況ヲ示ス

| 品      | 製造高       | 輸出高       |
|--------|-----------|-----------|
| 第一 假氷品 | 一、一〇〇、〇〇〇 | 四〇〇、〇〇〇   |
| 第二 盃盤類 | 一、四〇〇、〇〇〇 | 八〇〇、〇〇〇   |
| 第三 鏡類  | 二、五〇〇、〇〇〇 | 八〇〇、〇〇〇   |
| 第四 硝板  | 一、五〇〇、〇〇〇 | 三〇〇、〇〇〇   |
| 第五 硝瓶  | 四〇〇、〇〇〇   | 一、二〇〇、〇〇〇 |

硝子ヲ鍛鍊スルノ法ハ最モ近時ノ發明ニシテ最モ世上ニ名アリ此法ハ「ドラバスター」氏ノ發明ニシテ先ツ硝子ヲ熱シテ柔軟ナラセメ之レヲ油ノ中ニ投入ス其熱ノ度ト油ノ製法トハ硝子ノ質ニ依リテ同カラス今猶試験ニ附シ益之レヲ改良スルノ法ヲ計ルト云フ  
 鍛鍊硝子會社ト稱スル一社アリテ本會ニ多ク此種ノ硝子ヲ出品セリ皆燈燭、食器、化學器械等ニシテ尋常硝子ニ比スレハ其堅キヲ五十倍ナリト云フ  
 外國中硝子出品ノ盛ナルハ英、澳、白、以ノ四國トス英國ニテハ硝子税及ヒ窓戶税ヲ廢セシユ

リ硝子ヲ用ユルモノ益増加セリ千八百七十一年ノ調査ニ據レハ瀛力ヲ用ユル製造所二百四十所アリテ職工二萬四千四百三十四人ヲ役ス其中「イングランド」ニ在ルモノ二百十三蘇格蘭ニ十九所愛兒蘭ニ八所外ニ硝子板製造所三十七所アリテ職人九百人ヲ役ス皆「ウウルウイツキ」二州中ニ在リ千八百七十六年英國ニテ硝子輸入ノ全價ハ百八十六萬〇三百三十九ポンド輸出ハ九十一萬七千〇四十三ポンドナリ  
 澳國ニテ硝子製造ノ尤モ盛ナルハ「ボヘミヤ」州ナリ千八百七十六年ノ調査ニヨルニ同國ニハ製造所百七十七所アリテ七千百名ノ工人ヲ役シ其中製造所九十三職工三千八百八十八人ハ「ボヘミヤ」州ニ在リ澳國硝子ノ輸出入表ヲ見ルニ輸出ノ輸入ニ超ユルヲ甚タ大ニシテ輸入ハ每年平均二百萬「フロリン」ニ過キス重モニ普通ノ粗品ナリ輸出ハ精巧品多クシテ千八百七十七年ニハ千六百〇二萬四千八百四十一「フロリン」千八百七十五年ニハ千九百萬「フロリン」餘ニ増加セリト云フ

白國ニテ製スル硝子ハ硝子版、瓶、罎、杯、盤ノ類ニシテ彩色セシモノ彫刻セシモノ等精巧ノ品ハ甚タ稀ナリ製造所ハ七十所ニ在リテ一年ノ産額四千五百萬佛其四分ノ三ハ英、米各國ニ



輸出大製造ノ地方ハ「シアルロワー」「ジユメ」ル「ナシユール」「ゴッスリー」等ナリ  
 以國ノ硝子ハ他國ニ比スレハ皆古風ニ擬セシモノ及ヒ彩色セシモノ等多ク光彩目ヲ奪ヒ華  
 美ヲ極ムト雖モ日用品ハ甚タ少ナシ又「モザイック」細工ト唱ヘ各色ノ硝子ヲ嵌メ込ミタルモ  
 ノ多シ此等ノ出品ハ「ウエニーズ」府「サルウイアチ」氏及ヒ「ウエニース」ミユラノ「會社」ノ出品  
 ナリ以テ第一トス「サルウイアチ」氏ハ近時「ウエニーズ」府「モザイック」細工及ヒ硝子細工等ヲ振  
 起セシ人ニシテ千八百六十七年英ノ富豪ト協力シテ一社ヲ結ビ「サルウイアチ」社ト唱ヘ後  
 「ウエニーズ」ミユラノ「社」ト改稱シタルモ現時既ニ此社ヲ脱シ本會ニハ自己ニ出品セリ  
 各國皆硝子ノ製造所アリト雖モ以上四國ノ外ハ緊要ナラズ故ニ略ス  
 硝子ノ製法ハ米國博覽會報告書ニ就テ見ルベシ

陶磁器

製陶術ニ屬スル物品ハ其類甚タ多シ之レヲ大別シテ四種トナス

- 第一 白色及ヒ有色磁器
- 第二 白色及ヒ有色陶器

第三 沙質陶器

第四 瓦器

佛國ニ磁器ヲ産スル地方ヲ三大部ニ分ツ左ノ如シ

- 第一 「リムーザン」部「ホートウイエンヌ」及ヒ「クルーズ」兩州其中「リモーシユ」府  
 ハ白磁器ノ製造所三十餘所アリ
- 第二 「ペリー」部「シエール」アリエー「コエーブル」アンドル」等ノ製造所此部ニ屬ス
- 第三 巴里府并其近傍及ヒ「シアンパーキユ」地方之部

佛國中ニ磁器ノ製造所ハ百ニケ所ニ在リ機械ノ力ハ千三百馬力(水力五百五十馬力)水力七百五  
 十馬(役スル所ノ工人ハ一萬四千名)製産ノ高ハ四千三百六十萬佛其内輸出ノ額ハ凡ソ六百  
 萬佛トス

陶器ノ製造ハ磁器ニ比スレハ盛大ナル工場多シ其最モ盛ナル地方ハ「ニエーブル」「ムー  
 トエモゼル」「セーヌアンフエリウール」「ロウールアンフエリウール」等ノ諸州ナリ佛國中陶器  
 製造所ハ三百七十二ヶ所機械力ハ五百四十二馬力工人ハ五千四百三十名而シテ製産ノ高ハ



千三百九十六萬佛ナリ陶器ノ輸出ハ磁器ニ比スレハ大ニ少ナク僅カニ百萬佛ニ過キサルナリ而シテ英ヨリ輸入スル陶器ハ三百萬佛ニ過クルト云フ

沙質陶器ハ精粗ノ二種アリ精器ハ室内ノ裝飾又ハ食用ノ器具ニ用サテ甚タ華美ナリ其品位ハ堅磁器ト英ノ精陶器トノ間ニ在ルベシ粗品ハ日用ノ雜具ニ用サテ尤モ可ナリ敷瓦モ亦沙器ノ部ニ屬ス

瓦器ハ佛國各地ニ於テ製シ近來家屋ノ裝飾ニ用ユルコト日ニ増加セリ

英國陶器製造ノ形況ヲ察スルニ「イングランド」ニテハ陶磁器ノ製造所五百十七所アリテ四万六千六百三十名ノ工人ヲ役ス此外沙器ノ製造ニ係ルモノ九千三百三十名アリ合ハセテ五万〇七百六十九名トナル蘇格蘭ニテハ四千八百八十一名ヲ役シ愛兒蘭ニテハ五百二十二名ヲ役ス故ニ全國ヲ合計スレハ製陶ニ于スル工人五万五千四百七十二名ナリ千八百七十六年英國ヨリ輸出セシ陶器磁器ノ全額ハ英貨百七十七萬千七百九十「ポンド」ニシテ輸入ハ僅ニ六万二千〇五十二「ポンド」ニ過キス

澳國陶磁器製造ノ盛ナルハ「ボヘミヤ」州ヲ第一トス其故ハ多ク原質ト燃料トヲ産シ運輸モ

亦便利ナルニヨレハナリ澳國陶器各種輸出入ノ量ハ大差ナシト雖モ其價ヲ以テスレハ輸出ノ輸入ニ超過スルコト頗ル大ナリ千八百七十七年ノ調査ニ依レハ輸出ハ二百二十萬「フロリン」ニシテ輸入ハ百二十四萬「フロリン」ニ過キス

陶器ハ各國トモ皆多少産出セサルモノ無ク本會ニ出品セシモノ甚タ多シ故ニ悉ク記スルニ遑アラズ且ツ陶器製法ノ概畧ハ米國博覽會報告書ニ載スル所アリ故ニ復贅セス今單ニ佛國有名ナル「セーブル」製造所ノ沿革及近況ノ概畧ヲ記ルスベシ

往時支那磁器ノ歐州ニ入りシヤ人皆其精好ヲ賞シ學士輩ハ皆爭ツテ其製法ヲ察知セント欲セシモ遂ニ其功ナク千六百六十年ニ當リテ佛人「シロードレウエラン」氏幾多ノ辛苦ヲ經テ創メテ支那磁器ノ擬造ヲナセシト雖モ其物タルヤ軟磁器ニシテ即今「セーブル」古陶ト稱スルモノ是レナリ堅磁器ノ製法ヲ發明セシハ千七百六十八年「リモージュ」近傍ニテ「カオリン」(陶土)ヲ發見セシ以後ノ事ニ係ル是レヨリ先キ獨乙索遜ニ「ベットゲル」氏ト云フ者アリテ支那赤色陶器ノ製法ヲ發明シタリ乃チ索遜古陶ト稱スルモノ是レナリ此事實ニ千七百〇四年ニ在リ其後五年ヲ經テ同國ニテ「カオリン」土ヲ發見シ堅磁器ノ製法ヲ創メタレ共秘シテ他



國ニ傳ヘサリシ

「セーブル」製造所ハ千六百九十五年ニ始メテ之ヲ「サンクルー」地ニ設ケ「シカンノー」氏其事ヲ督シ當時ハ只「クロードレウエラン」カ發明シタル軟磁器ノミチ製造シタリキ千七百五十九年ニ製造所ヲ「セーブル」ニ移シタリ後十四年ヲ過キ化學家「マツケル」氏ノ力ニ依リテ始メテ堅磁器ヲ製造スルニ至リタリ

當時歐洲ニテハ競テ諸種ノ製造法ヲ秘スルノ風行ハレタリ陶器ノ如キモ亦其製法ヲ秘密ニシ索遜ノ如キハ製造所ヲ城塞内ニ設ケ陶土ヲ運輸スルニモ兵士之ヲ護衛シ工人ノ製法ヲ漏スヲアル時ハ死刑ニ處スルニ至レリ斯ノ如キ時勢ナレハ佛國モ亦嚴ニ製陶ノ法ヲ秘シタリシカ千七百八十九年革命ノ後ハ政府ノ議論一變シ自國ノ工業ヲ助クルハ務メテ製造ノ良法ヲ播布スルニ在ルノ理ヲ解シタリ千八百零一年第一世那破翁カ一等理事官タリシ時著名ノ學士「ブロンギヤール」氏ヲ命ジテ「セーブル」製造所長トナシ盛ニ製陶ノ方法ヲ研究改良セシメ徧チク國內ノ製造人ニ教授シテ其模範トナリ主トシテ勸獎誘導シ以テ大ニ面目ヲ新ニシタリ爾來歷代ノ帝王大ニ「セーブル」製造所ヲ保護セシニヨリ其名遂ニ宇内ニ冠タリ同所ノ家宇

狹少陋隘ナルヲ以テ新ニ「サンクルー」宮園ノ一隅ニ大厦ヲ建築シ千八百七十六年十一月ニ移轉セリ是レチ即今ノ製造所トス

「セーブル」製造所ハ政府ノ所有ニシテ文部省ニ屬ス製陶工場ノ外又陶器博物館アリ所長一名之レチ總理ス屬官ニハ會計掛一名下地並燒上掛一名陶畫掛一名錦窯掛一名(化學家)博物館掛一名ト商議員十三名アリ工人ハ合計百餘名トス

「セーブル」ノ製品ニハ軟磁器、堅磁器ノ二種アリ軟磁器ハ「セーブル」古陶ト唱フ其上藥ハ硝子ノ質ニシテ軟柔光澤アリ土ハ「フリット」ト稱スル人造土チ用ユ「フリット」ハ沙硝石、石膏、明礬、及ヒ海鹽ヲ鎔解シタル後又之レニ「マルヌ」及ヒ「クレイ」ノ二土ヲ混和シテ製シタルモノナリ堅磁器ハ支那日本ノ磁器ト同類ニシテ土ハ「カオリン」フェルツパット「ペグマチット」クレー「及ヒ硅沙ヲ用ユ而シテ上藥ハ「フェルツパット」チ燒テ細末トシ水ニ和セシモノナリ

「セーブル」製陶ノ方法ハ其大綱固ヨリ常法ト異ナラスト雖モ唯意ヲ用ユル綿密周到ナルノ「アルノミ」製陶ノ法ハ米國博覽會報告書ニ在リ故ニ復テ贅セ大今單ニ「セーブル」ニテ近來發明セシ氣壓法及ヒ排氣法ニ就キ數言ヲ述ヘントス



石膏ニテ摸型ヲ作り之レニ原質ノ陶土ヲ注キ入レ以テ各種ノ陶器ヲ作ルハ歐洲各國皆用ユル所ノ常套法トス決シテ新トナスニ足ラス且ツ此法ハ多クハ器物ノ淺クシテ平ラカナルモノ或ハ口ノ廣キモノヲ製スルニハ宜シト雖モ卵形等ノ器物ニ至リテハ型中上部ノ土自カラ落テ遂ニ全体ヲ損破スルノ患ヲ免カレサルナリ氣壓法及ヒ排氣法ヲ用ユレハ此患ヲ防クベシ

千八百五十八年「セーブル」製造所ニテ下地掛「ミエー」氏工人「ドラクル」ニ命シ始メテ氣壓法ヲ試ミシニ其功ヲ奏シタリ排氣法ハ千八百六十一年製造所長「レギヨール」氏ガ改良セシ所ニ係ル氣壓法ハ口ノ細カナル器物ニ施スニ宜シク排氣法ハ口ノ廣キモノニ宜シ而シテ其功用ハ二法共ニ同シキナリ

今此法ヲ略記センニ先ツ常法ノ如ク石膏製ノ模型ニ原質ヲ注キ入レ型ノ内面ニ糊著スル土ノ厚サ適宜ト思フ時餘分ノ原質ヲハ皆注キ出シ然ル後氣壓又ハ排氣ノ法ヲ行フナリ氣壓ノ法ヲ行フニハ圓板ヲ以テ型ノ口ヲ密閉シ圓板ニ附スル「ポンプ」ニテ空氣ヲ型中ニ送入ス排氣ノ法ハ鐵葉製ノ圓筒ヲ以テ型ノ周圍ヲ覆ヒ型ノ口ヲハ開イテ閉チス以テ型ト圓筒トノ間

ニ空氣ヲ充滿セシメ排氣器ニテ此空氣ヲ吸取ス是ニ於テ空氣ハ常ニ型ノ口ヨリ入りテ其下ヨリ出ツルナリ二法共其用ハ空氣ノカヲ借リテ型中ノ土ヲ型ノ内面ニ壓著セシムルニ在ルナリ

「セーブル」製造所中陶器博物館ハ千八百五年當時ノ長官「ブロンギヤール」氏カ創建ニ係ル其品物ハ買入、交換、寄附ノ三法ヲ以テ採集セシモノニシテ各國新古ノ陶器凡ソ二萬種アリ「ブロンギヤール」氏カ此設ケアリシ主意ハ物品ノ形狀摸樣ノ善美ナルヲ慕ヒシニ非ス又考古史傳ニ益アルモノヲ本トセシニモ非ス專ハラ製造法ヲ示スニ足ルベキ物品ヲ第一トナシタリキ同氏曰ク余カ陶器ニ取ル所ノモノハ希臘、羅馬、墨西哥等ノ陶器能ク人民史傳ノ參考トナルベキモノヨリ寧ロ瑕疵アルモ製法ヲ徵スベキモノニ在リト故ニ「セーブル」博物館ノ品物ハ常ニ此主意ヲ奉シテ採集セリ其種類ハ第一内外各國ノ陶器第二「セーブル」製造所建設以來同所ニテ製シタル物品並其原質物一切ノ見本ナリ

金銀器及ヒ銅器類

金銀器ハ俗家ノ用ト寺院ノ用ト二種ノ別アリ佛國ニテ金銀器製造ノ重ナル地方ハ巴里及ヒ



里昂ナリ製造場ノ合計二百四十七所工人ハ千八百五十八ヲ役ス此外金銀器ノ磨キ仕上ケ等ノ工場四百三十三所アリテ工人ハ千五百人アリ其ノ原質物タル金、銀、銅平均ノ價ハ左ノ如

|       |                    |           |
|-------|--------------------|-----------|
| 金     | 一キログラム             | 三千三百佛     |
| 銀 第一號 | 全                  | 二百十二佛     |
| 銀 第二號 | 一キログラム             | 百八十佛      |
| 銅     | 百キログラム             | 二百五十乃至二百佛 |
|       | ノーチョール (銅亞鉛、コッケ) 全 | 六百乃至八百佛   |
|       | ノルノ合ハセ物            |           |
| 大銀器   |                    | 千八百萬佛     |
| 小銀器   |                    | 五百萬佛      |
| 食器    |                    | 千萬佛       |

毎年製造ニ用ユル銀ノ全量ハ八万九千「キログラム」其價ハ凡ソ千七百八十萬佛ナリ  
毎年ノ製造高ハ凡五千萬佛ニシテ其譯左ノ如シ

「メーショール」器具  
及ヒ鍍銀器

千七百萬佛

此内佛國內ニテ賣買スルモノ殆ント三分ノ一ニ居ル餘ノ二分ハ英、獨、南北亞米利加及ヒ亞細亞諸國へ輸出スルナリ

英國金銀器ノ製法ハ頗ル盛大ニシテ千八百七十一年ノ調査ニヨレハ龍動一府ニシテ製造場九千所アリ

千八百六十七年以降十年間英國ニ輸入セシ金貨並地金ノ額一億九千〇九十一萬千八百「ポンド」輸出ハ一億四千四百四十萬八千六百四十九「ポンド」トス銀ハ輸入一億〇九百七十六萬七千九百〇壹「ポンド」ニシテ輸出ハ九千八百三十七萬四千六百三十四「ポンド」トス故ニ出入差引キ國內ニ殘リシ金額四千六百五十萬三千五百五十二「ポンド」銀額千三百三十九萬三千二百六十七「ポンド」トナル此外自國ニ産セシ銀ハ百五十萬「ポンド」アリ然レモ金銀器ノ製造ハ近時年々ニ減少シ千八百七十五年ニハ稅ヲ納メシ金銀器ノ量八十八萬六千四百九十二「オンズ」ナリシガ同七十七年ニハ七十九萬八千二百六「オンズ」ニ減シタリ蓋シ金銀器ノ稅重キ一其一大原因ナリト云フ



電鍍術ハ重モ「ビルミングハム」及「シエッフヒルド」ヲ盛ナリトス然レハ倫敦府中猶製  
造人二百名アリ他ノ各州モ又合ハセテ百名ニハ下ラサルベシ英國中一年ノ製造高凡ソ百五  
十萬「ポンド」ニ至ルト云フ「シエッフヒルド」一府ノミニテ工人ヲ使用スルヲ八千名餘「ビルミ  
ングハム」モ亦之レニ下ラス近來此種ノ製品次第ニ増加シ專ハラ印度、亞弗利加、豪地利ノ屬  
地及歐洲大地ニ輸出ス千八百六十七年ニハ輸出ノ高十萬「ポンド」ニ過キサリシモ近時ハ殆  
ント之レニ倍セリ

青銅器ノ工業ハ固ヨリ圖畫ニ是レ依ル人像ト云ヒ他ノ裝飾物ト云ヒ皆圖畫家ノ原案ヲ假ラ  
サルナシ

青銅器ノ原質ハ銅、錫、亞鉛、鉛ノ四ツトス其混合ノ割合ハ左ノ如シ

|   |       |    |      |
|---|-------|----|------|
| 銅 | 九一、六一 | 亞鉛 | 五、二五 |
| 錫 | 一、七〇  | 鉛  | 一、二七 |

然レハ日常製造ノ品ニハ亞鉛ノ割合甚々多シ柔軟ニシテ工ヲ施スノ易キヲ以テナリ

佛國ニテ千八百六十九年ニハ青銅器ノ輸出二千五百萬佛ニ及ヒシカ爾來漸ク減少シタリ其

故ハ各國皆佛國ノ青銅器ニ重稅ヲ課シタレハナリ

即今佛國中青銅器製造所六百所工人ノ數七千五百名一年ノ製造高ハ八千萬佛ナリ

亞鉛ニテ製スルモノヲ擬銅器ト唱フ其工業起原ハ甚々遠カラス專ハラ「バ」里府ニ盛ナリ殊ニ  
電鍍術ニ依リテ亞鉛ニ銅、金、銀ヲ鍍スルヲ容易ナルヲ以テ其製造次第ニ上進増加セリ此事

ニ從フモノ七十五名其工人ハ千二三百名一年ノ製造高凡ソ八九百萬佛其内自國用ハ纔カニ  
三分ノ一ニ過キス餘ハ皆外國ニ輸出スルナリ

近來鐵ヲ以テ裝飾品ヲ製スルヲ亦漸ク盛ナルニ至レリ專ハラ「シ」ア「ン」パ「ー」ギ「ユ」地方ニ於テ  
行ハル蓋シ此地方ニハ適用ノ鐵鑛多ク及ヒ模型用ノ砂ヲ産スルヲ他地方ノ産出ニ優レルモ  
ノアレハナリ

佛國ニテ一年ノ製産高ハ凡ソ二千萬佛其中六分ノ一ハ外國ニ輸出ス

鐵ハ固ヨリ鑄ヲ生シ易シ然レハ電氣ニテ薄ク銅ヲ鍍スル時ハ其色ヲ以テ青銅ニ似セシムル  
ノミナラス又善ク鑄ヲ防キ久シク需用ニ供スルヲ得ベキナリ

外國中銅器ヲ出品セシ者ハ英、蘭、白等ノ數國アレハ一モ佛國ニ比スベキモノナシ蓋シ往時



ハ皆佛國ノ輸入ヲ仰キシニ近來各國皆競ツテ其工業ヲ内地ニ起コセルモノ、如シ英國ニ  
年輸入スル銅器ハ凡ソ十萬「ポンド」ニシテ其半額ハ乃チ佛國ヨリス是レ其一例トナスベシ

○第四章 第四大區織物衣服及附屬品 綿布 麻布 絹布 編織物 綵花

佛國ニテ始メテ木綿ノ製造「」ヲ起シハ千八百年代ノ初メニ在リ以降千八百七十年ニ至ル  
マテ改良進歩セシ「」甚ク著大ナリシカ現今新設ノ工場甚ク少シ  
綿糸ヲ製シ綿布ヲ織ルノ工場ハ佛國ノ西北、東ノ諸州及ヒ中央各州ニ多シ  
木綿ノ原質ハ亞米利加、埃及、印度ヨリ輸入ス毎年用ユル所ノ量ハ九千萬「キログラム」紡錘ハ  
四百六十一萬本織機六萬八千基外ニ手轉織機モ亦夥多ナリト云フ木綿機械ハ千八百六十七

年博覽會ノ時既ニ精好ヲ極メ爾來進歩セシ「」少シ

木綿製造ハ英國最モ盛大ニ最モ緊要ニシテ本會出品極メテ壯大ナリ木綿製造所百分ノ八十八  
ハ「ランカストル」州ニ在リ其他ハ「ヨーク」「ダービー」「蘇格蘭」「愛兒蘭」「ウエールス」等ノ諸州ニ在リ  
千八百七十六年ノ調査ニヨレハ同國木綿製造ノ形况左ノ如シ

|        |                   |
|--------|-------------------|
| 製造所    | 二六五五 所            |
| 紡錘     | 四一八八一、九九〇 本       |
| 紡績機械   | 四六三、一一八 基         |
| 工人     | 四七九、五一五 人         |
| 木綿製造資本 | 九〇〇、〇〇〇、〇〇〇 ポンド   |
| 消費セシ原質 | 三、一八五、九四二 斤       |
| 原質ノ價   | 三、二一八、五五〇、〇〇〇 ポンド |
| 木綿糸産額  | 一、一三一、〇五六、〇〇〇 斤   |
| 綿布産額   | 八九八、九〇六、〇〇〇 斤     |



内國用糸布産額 一六三、九〇六、〇〇〇 斤  
 輸出糸布産額 九六七、一五〇、〇〇〇 斤  
 内國用糸布價 一七、七七七、〇〇〇 ポンド  
 輸出用糸布價 七二〇、七九〇、〇〇〇 ポンド  
 製産高合計 八九、八五六、〇〇〇 ポンド

外國製造ノ木綿ヲ輸入スル高ハ千八百七十六年ニ於テ百八十万「ポンド」餘ニ上レリ  
 今英國ヨリ木綿ヲ輸出スル國名ト木綿ノ量ト價トヲ左表ニ擧ク此表ハ千八百七十五年ノ調  
 査ニ係ル

第一綿布

獨乙及ヒ和蘭 一一五、九〇〇、〇〇〇<sup>ヤード</sup>  
 葡萄牙、アリ 七〇、六〇〇、〇〇〇、  
 ール、マデラ 三二、七〇〇、〇〇〇、  
 シブラルタ 一〇、一七〇、〇〇〇、  
 ル、及マルト  
 以太利及澳國

土耳其、シ 三五六、二〇〇、〇〇〇、  
 リ、埃及 三八、四〇〇、〇〇〇、  
 亞弗利加西 四八、二〇〇、〇〇〇、  
 部及南部 七九、八〇〇、〇〇〇、  
 英領北米 一九五、九〇〇、〇〇〇、  
 米國 一九六、八〇〇、〇〇〇、  
 アンチール中 一一五、一〇〇、〇〇〇、  
 央亞米利加 一二三、一四〇、〇〇〇、  
 伯西兒 四三六、〇〇〇、〇〇〇、  
 南米各國 九〇、六〇〇、〇〇〇、  
 英領印度 四六三、〇〇〇、〇〇〇、  
 支那及香港 三九五、三〇〇、〇〇〇、  
 シアワ、ヒリ 四六三、〇〇〇、〇〇〇、  
 ツピン嶋 三九五、三〇〇、〇〇〇、  
 豪洲 三五四、九〇〇、〇〇〇、  
 其他ノ地方  
 合計



此價

五三六〇〇、〇〇〇、ポンド

第二木綿糸

露國

四〇〇〇〇〇〇、斤

獨乙及和蘭

七六、一〇〇、〇〇〇、

以國及澳國

二三六〇〇、〇〇〇、

土耳其

一五九〇〇、〇〇〇、

英領印度

三二五〇〇、〇〇〇、

支那及香港

二九四〇〇、〇〇〇、

其他各地方

二九〇〇〇、〇〇〇、

合計

二一〇、五〇〇、〇〇〇、

此價

一三三、二〇〇、〇〇〇、ポンド

右統計ニ據レハ木綿製造ノ業ハ英國ノ爲メ最モ緊要ナルヲ知ルベシ  
木綿ハ日用必需ノ物タリ故ニ多ク木綿ヲ産スルノ國ハ勿論他ノ諸國モ亦其製造ヲ起サ、ル

所ナシ之レヲ以テ本會ノ出品甚々盛多ニシテ一々記載スルニ遑アララス聊カ各國製造ノ形況  
ヲ左ニ概論ス

木綿ノ工業ニ於テ英國ノ第一等タルハ上ミノ統計ニ由テ知ルベシ今度ノ會ニ木綿ノ出品人  
ハ僅カニ三十餘名ニシテ工業ノ盛ナルニ比スレハ少ナシト雖モ出品ノ精好ナルト種類ノ夥  
多ナルト他ニ其比類ヲ見ス以テ其製造ノ實況ヲ見ルニ足レリ

米國木綿ノ製造ハ近來進歩著大ナリト雖モ今度ノ會ニ就キテ察スルニ製法ノ巧未タ歐州ニ  
比肩スルニ足ラサルカ如シ蓋シ米國ノ産ハ日用ノ粗品多クシテ風致ニ乏シ獨リ木綿ノミナ  
ラス米國ノ物品ハ實用ノ便ヲ以テ論スレハ歐州ニ過クル所アレモ外觀ノ美ニ至リテハ遠ク  
及ハサルモノアルニ似タリ是レ美術ノ盛ナラサルニ由レルト云フベシ  
典、諾、兩國モ亦大ニ木綿製造ニ力ヲ用ユルモノ、如シ其出品ハ自國用ノモノ多シ故ニ重ク  
シテ且ツ厚シ以テ寒氣ヲ防クニ充ツ

以國ハ木綿製造頗ル盛ナレモ未タ精ヲ極メス且産スル所自國ノ用ニ充ツルニ足ラス  
西國ハ近來木綿ノ製造大ニ進歩シ殆ント他國ノ輸入ヲ仰カサルニ及ベリ



澳國木綿ノ製造ハ頗ル盛大ニシテ綿糸ハ中等以下ハ皆自國ノ産ヲ以テ足レリトス然レモ精好ノ上等品ハ猶他國ニ仰カサルヲ得ス綿布ニ至リテハ上中下等トモ更ニ他國ニ仰カス其製法甚タ精好ナリ

露國モ木綿ノ工業甚タ盛ナレモ未タ全國ノ需用ニ充ツルニ足ラス

瑞國ハ綿糸綿布共ニ精好ヲ極ム而シテ其輸出甚タ多シ

蘭國ノ木綿製造ハ甚タ盛大ト云フニハ非サレモ亦タ見ルヘキモノアリ其産スル所ハ自國用ニ充テ且ツ印度ノ屬地ニ輸出ス

白國ノ木綿ハ日用普通ノ品多シ然レモ製造頗ル大ニシテ所産三分ノ一ハ外國ニ輸出ス

麻布

麻布類ハ本區ノ第三十一小區ニ屬ス亞麻、大麻、ジユート、フホルミオム等ノ原質ヨリ糸ヲ取り織リ成シタルモノナリ

亞麻ハ重モニ白露、英、佛、亞爾及耳等ノ産ヲ用ユ大麻ハ佛、澳、白、以、露等ノ産「ジユート」ハ支那及ヒ印度、フホルミオム「ハ亞弗利加ノ産ヲ用ユ又「マニア」麻、「チアイナグラス」芭蕉、鳳梨

ノ織緯等ヲ用ユルヲ佛國ニテ屢々試験シタレモ未タ其効果ヲ得スト云フ

佛國ニテ千八百六十七年以降十年間一年平均亞麻ノ消費高ハ一億八千三百八十万千六百二十一「キログラム」ニシテ價ニ億〇二百九十一万二千九百九十三佛トス

佛國ニテ亞麻ヲ製スルハ「ノール」及「ノルマンデー」ノ地方ニ在リ大麻ハ「アンジュー」地方「ジユート」ハ「ピカルデー」地方トス「ジユラ」及「バックスピレチー」州等亦數所ノ製造所アレモ管ニ其地方ノ用ニ供スルニ過キサルノミ

千八百七十五年佛國ニテ麻糸ノ製造所百八十一所アリ糸及ヒ布ヲ製スル工場ハ四十五ヶ所合セテ二百二十六所ナリ紡錘ハ六十六万三千本紡錘ニシテ運轉セサルモノ五万二千本合セテ七十一万六千本、機械ノ力ハ二万二千二百五馬力、其内蒸氣一萬九千七百六馬力、水車千四百九十九馬力トス工人ハ男女合ハセテ六万二千八十五名ナリ製造所ハ重モ三「ノール」「ソナム」及ヒ「ノルマンデー」ノ諸州ニ在リ  
麻布類ハ大別シテ左ノ五種トス

第一 粗布帆布類



第二 上等布及中等布

第三 食卓用布巾

第四 パッチスト類 布名

第五 クリーチー類 全上

製布ノ業モ亦蒸瀛機械ヲ用ユト雖<sub>レ</sub>製糸ニ比ス<sub>レ</sub>ハ其變革遲緩ナルヲ見ル千八百七十六年ノ調査ニ依<sub>レ</sub>ハ蒸氣機械二万三千三十七基ニシテ手轉機械ハ五万四千四百六十基ナリ千八百六十七年ヨリ七十六年マテ各種ノ麻布ハ一ケ年平均ノ輸入高三百九十六万六千八百二十六「キログラム」價ハ千三百九十万七千六百二十一佛輸出ノ高ハ四百五十二万八千八百八十八「キログラム」價ハ二千四百三十二万四千七百七十六佛ナリ故ニ麻布ノ輸出ハ殆ント輸入ニ倍セルヲ知ルベシ

英國麻布製造ノ景況ヲ察スルニ千八百七十五年ニ當リ工場四百四十九所アリテ工人ノ數ハ十二万八千四百五十九名大麻ノ製造場ハ六十一所工人ハ五千二百十一名ニ過キヌ「シユート」ノ製造ハ頗ル盛大ニシテ工場百十六所アリ工人ハ二万七千九百二十名ヲ用ユ

英國亞麻並「シユート」ノ糸及ヒ織物輸出ノ價額左ノ如シ

千八百六十七年ニハ

亞麻糸及布

九、八八七、七七六、<sub>ポンド</sub>

シユード同

五七二、四二四、

千八百七十六年ニハ

亞麻糸及布

七、〇七〇、一四九、

シユード同

一、七八五、〇六九、

此調査ニ由<sub>レ</sub>ハ亞麻ノ輸出ハ減シ「シユート」ハ大ニ増加セリ

亞麻製造ハ澳國ニ於テモ亦緊要ナル位置ヲ占メタリ千八百七十五年ニハ紡錘ノ數四十万本工場六十三所アリ重モニ「ライヘナウ」近傍ニ多シ自國産ノ亞麻ノミコテハ不足ナリ故ニ年々外國ヨリ輸入ス就中露國ヨリ輸入スルヲ最モ多シ

年々製造ニ用ユル亞麻ハ七十二万五千「キヤンタル」ニシテ其内五十萬ヲ自國ノ産トシ餘ノ二十二万五千ハ外國ノ産ヲ用ユ千八百七十七年ノ調査ニハ澳國ヨリ輸出セシ亞麻糸及布ハ



七十二万「キヤンタル」ニ及ヘリトス  
 白國産ノ亞麻ハ品位精好ナルヲ世ノ普テ知ル所ナリ其耕地ハ六万「エクタール」ニシテ麻  
 糸麻布ノ製造ハ同國ニテ最大工業中ノ一トス  
 同國ヨリ年々輸出スル亞麻糸ノ價ハ六千乃至八千万佛ニシテ麻布モ亦二千万佛ニ過ク  
 以、西兩國ニテモ近來麻布ノ製造ヲ起シ頗ル盛大ニ至レリ麻糸ハ猶ホ白、英二國ノ産ヲ仰ク  
 モノ多シ

露國ニモ盛大ナル麻布製造所數所アリ皆自國用ニ充テ輸出セズ輸出スルモノハ帆布ノミ  
 典、諾二國ハ製糸製布共ニ著大ノ進歩ヲ見ル

帝、葡、蘭ノ三國ニハ只製布ノ工業アルノミ其原質タル糸ハ皆白、英等ヨリ輸入ス

絹布

生糸及ヒ絹布類ハ本區中第三十四小區ニ屬ス大別シテ左ノ三種トス

第一 生糸捻糸等

第二 屑糸

第三 純粹ノ絹布並他物ヲ交ヘタル絹布

千八百七十六七兩年ハ養蠶時節甚タ不景ナリシガ佛國ニテ製シタル生糸ノ量ハ五十一万キ  
 ログラムニシテ之レカ爲メ用ヒタル繭ハ四百二十万「キログラム」其内二百四十万「キログラ  
 ム」ハ内國産百八十万「キログラム」ハ外國産ナリ此他外國ヨリ生糸ヲ輸入セシヲ四百五万「キ  
 ログラム」ニ及ヘリ

佛國中製糸場ノ數五百ヶ所工人ハ男七千六百四十七名女五万千三百三十六名童兒ハ一万〇九  
 百八十五名ナリ

支那日本ヨリ輸入セシ生糸、玉糸等捻糸ニ用ユルモノ凡ソ千五百万佛ナリ

佛國中屑糸ノ製造所十五ヶ所其鍾ハ七万五千本此外「ラーン」及「オートアルプ」州ニハ唯屑糸  
 ナ梳治スル丈ケノ工場數所ニアリ

屑糸ヲ梳治スル時又屑ヲ生ス其屑ヲモ又再ヒ梳治シテ弃テス其製造場七ヶ所ニアリ  
 絹布ノ種類甚タ夥多ニシテ一々記スルニ遑アララス之レヲ大別シテ左ノ三種トナス

第一 絹布



第二 組條類

第三 交織絹布類

絹布ハ里昂及ヒ其近傍并「ノール」ノーム等ニテ專ハラ之レテ製造シ組條類ハ「サン」チエ  
又「交織絹布ハ里昂、巴里并其近傍及「ヒル」ベ」ピカルヂ「地方ニテ製スルナリ  
千八百七十二年右各種織物ノ製造高概算左ノ如シ但家具裝飾ニ用ユルモノハ此外トス

フーラール 鼻拭襟卷等ニ用ユル薄絹布 五〇〇〇〇〇〇〇、フランク

縮緬 八〇〇〇〇〇〇〇、

チユール 地ノ透キタル織物ニテ「レース」ニ似タリ 一四〇〇〇〇〇〇〇、

天鷲絨 三〇〇〇〇〇〇〇、

縞子 二五〇〇〇〇〇〇〇、

女服用黒絹布 一六五〇〇〇〇〇〇〇、

同地色絹布 一二〇〇〇〇〇〇〇〇、

右ノ外縫箔セシカ又ハ無地ノ絹布 二八〇〇〇〇〇〇〇〇、

組條類

八〇〇〇〇〇〇〇〇

交織絹布

四〇〇〇〇〇〇〇〇、

合計

五六〇〇〇〇〇〇〇〇、

織物ノ製造ハ其工場大ナラス或ハ巨大ナル機械ヲ備ヘタル工場モ多シ機械並織法等ニ至リ  
テハ精巧ヲ極ムルヲ年既ニ久シク近來新々ニ發明セシモノアラサルナリ

製系ハ以國ノ出品甚々多シ織物ノ出品ハ皆無地ヲ主トシ里昂ノ如ク華美精好ノ物ヲ見ス近  
年ノ統計ニ依レハ製系ニ于スル工人ハ十八万五千七百二十二名ノ多キニ及ヘ共織布ノ業ハ  
大機械六百六十五基、手用機械七千二百九十四基ニ過キス之ヲ要スルニ絹糸絹布ノ工場合  
セテ三千八百二十九所機械ノカハ一萬〇九百〇二馬力工人ハ凡ソ二十万人トス工業ノ最  
盛ナルハ「ロンバルデー」「ピエモン」兩州ニ在リ

英國ニテ絹糸及ヒ絹布ノ製造所ハ其數八百十八所アリ工人ハ四万五千五百五十九名英國ニ  
輸入セシ生糸其他ノ價額ハ左ノ如シ

千八百六十七年

千八百七十六年



|    |     |            |             |
|----|-----|------------|-------------|
| 屑糸 | ポンド | 三七五、七三三    | 四〇六、〇五一     |
| 生糸 |     | 七、五五六、四六一  | 五、七七〇、三四一   |
| 絹糸 |     | 四、三九、九七七   | 一、九九、二九三    |
| 絹布 |     | 九、〇九四、九五三  | 一、一八、一五、七四〇 |
| 合計 |     | 一七、四六七、一二五 | 一八、一九一、四二五  |

英國ヨリ輸出シタル絹糸絹布ノ高左ノ如シ

|    |           |           |
|----|-----------|-----------|
| 合計 | 千八百六十七年   | 千八百七十六年   |
| 絹糸 | 七、五四、一四五  | 一〇、八〇、六七八 |
| 絹布 | 一、〇二、四五一  | 一、七九、四五六  |
| 合計 | 一、七七八、六六三 | 二、八七五、二四三 |

近來英國ニテ屑糸製造ノ業大ニ進歩シ「ブラッドフォルト」ノ近傍「マンニンガバム」ニテハ四千人ノ工人ヲ役スル大工場アリ

澳國ニテ毎年收ムル所ノ繭ハ凡ソ五十一萬「キログラム」ニシテ生糸ノ量ハ千九百「キンヤタ

ル」ナリ養蠶ノ業ハ多ク國ノ南部ニ行ハル就中南「チロール」州ヲ最一トス

全國ニテハ絹物ノ輸入税ヲ減セシヨリ貿易ノ景況一變シ往時ハ輸出遙カニ輸入ニ過キシモ近時ハ輸入却テ輸出ニ超ユルニ至ル輸入ニハ精品多ク輸出ニハ通常品多シ千八百七十六年ニ輸出ノ総額ハ三百七十七萬「フロリン」ニシテ輸入ハ千三百三十萬「フロリン」ニ上レリ

右數國ノ外瑞、露國等亦絹布ノ出品多シ

編織物

編織物ハ佛語コテ「ダンテール」ト云ヒ英語ニテハ「レース」ト云フ其種類ニツアリ一ハ通常ノ編物即チ小臺ノ上ニ留針ヲ立テ糸ヲ其間ニ屈曲シテ編ムモノ一ハ只一本ノ針ニテ編ムモノナリ

佛國ニテ重モニ編物ヲ製スル地方ハ左ノ如シ

- 第一 ピユイ 「オーウエルギユ」編物ヲ出ス
- 第二 ミルノール 「ロレーヌ」編物ヲ出ス
- 第三 ハイウー 「ノルマンデー」編物ヲ出ス



第四 アランソン

「ポリンドフランス」及ヒ「ポワンダランソン」ト唱フルモノヲ出ス

右各種ノ編物ニ用ユル原質ハ「リール」ノ亞麻糸及ヒ綿糸英國ノ綿糸里昂ノ絹糸「アミヤン」及ヒ英國ノ毛糸等ナリ以上原質ノ價ハ僅カニ編物ノ價百分ノ五乃至十二當ル比例ニシテ全ク時日工程ヲ要スルニヨリ是ノ如キ高價ニ上ルナリ

佛國ニテ編物ヲ業トスル工女ハ凡ソ二十萬人アルヘシ其工銀ハ一日一佛ヨリ一佛半ニ過キス

佛國ノ編物ハ米國、伯西兒、獨、以、英、露其他亞細亞地方、英領印度等ニ輸出ス

編織物ハ外國部中ニモ甚タ多シ英、以、西、白、澳等皆之レヲ出品セリ就中白國ヲ以テ第一トス編織物ヲ發明セシハ或ハ白國ノ人ト云ヒ或ハ以國ノ人ト云ヒ兩說孰レカ是ナルヲ知ラサレハ白國ニ於テハ千三百年代ノ末其工業既ニ緊要ノ位置ヲ占メタリシハ當時ノ書冊圖書等ニ由リテ明ラカナリ其後英佛ニテハ或ハ白國編織物ノ輸入ヲ禁シ又ハ其稅ヲ重フシタル等種々ノ困難ヲ歷タルニ依然衰ヘス能ク其聲價ヲ維持セリ即今白國ニテ此業ヲ營ム工女十萬人

餘アリ千八百四十六年ニハ產額五千万佛ナリシカ現時ハ凡ソ之ニ倍セリ

綵花

綵花ハ專ハラ西洋婦女ノ冠帽衣服ヲ裝飾スルニ用ユ其製造ハ自家ニ於テ内職ト爲スヲ得ヘク婦女子ノ産業ヲ助クルニ於テ最モ要用ナルモノトス佛國ニテ十年前ハ其工場二千所ナリシカ即今ハ三千所ニ上リ毎年ノ製出高ハ二千五百万佛ニ及ヘリ

千八百六十七年英國ニ輸入セシ綵花ハ其價三十万四千四百四十「ポンド」多ク佛國ヨリ輸入セシモノニ係ル千八百七十六年ニハ五十二万七千〇〇一「ポンド」ニ上レリ其中四十九万六千九百八十七「ポンド」ハ佛國ヨリシ餘ハ獨、白ノ二國ヨリス

英國綵花工場検査官某氏ノ説ニ近來綵花製造人ノ利益ハ往時ニ比スレハ大ニ増加シ内國産頗ル高價ニ至リタルニ其風ハ皆巴里府ノ流行ヲ追ヘリ近コロ龍敦ニテ綵花製造ノ爲メ一大社ヲ結ヒ資本金四十万「ポンド」ヲ備ヘテ盛ンニ其事ニ從ヘリ云々

澳國ニテモ綵花ノ工業ニ苦辛シ中等品ヲ産スルニ至リ其輸出次第ニ増加スト雖モ上等品ハ巴里府ニ仰ク一他諸國ニ異ナラス



○第五章 第五大區鑛物類 山林產品 不可食農產物 化學品 佛國海港出品

佛國ニ於テ千八百七十二年ニハ石炭褐炭及ヒ無焰石炭鑛六百十一所其廣サ五千四百十八「キ  
ロメートル」平方二十五「エクタール」六「アール」鐵鑛ハ二百五十一所其廣サ千百八十七「キロ  
メートル」平方六十八「エクタール」九十「アール」各種金屬ノ鑛山ハ二百二十二所其廣サ二千  
八百六十七「キロメートル」平方七十九「エクタール」三十六「アール」ナリ其外建築ニ用ユル材  
料、大理石、陶土、耐火土、燐酸、硫黃、石鹽等ヲ産スル鑛山若干所アリ  
銅ハ佛國ニ少ナシ「ポリビー」「アルジエリ」以、英、米、智利等ヨリ輸入ス  
鉛モ亦自國産ノ外「サルヂニヤ」島「アルジエリ」及ヒ西、英、瑞、白等ヨリ輸入ス

亞鉛ハ西、獨、白等ノ諸國ヨリ輸入ス

滿俺、水銀、安質母尼、コバルト、錫、金、銀等ニ至リテハ殆ント皆之レヲ外國ニ仰クナリ

「ニッケル」ハ佛國ノ屬地新「カレドニー」ヨリ盛ニ輸入ス

故ニ鐵ノ外他ノ金屬ハ自國ニテ産スルモノ甚タ小少ナリ

佛國ニテ鐵坑ノ事業ハ既ニ「ゴール」八種ノ世ニ於テ行ハレタレモ當時ハ鉄鑛多キカユヘ只  
採掘シ易キ地ニ著手セシコ過キヌ千五百年代ノ末ヨリ漸ク盛大ニ赴キ千八百六十年マテハ  
進歩シテ止マサリシカ爾來外國産ヲ輸入スルコ多ク自國採掘ノ事頗ル減セリ千八百六十三  
年ニハ消費全額三百二十九万二千四百八十六噸其内外國産ハ十一万七千五百六十七噸ニ過  
キサリシニ千八百七十二年ニハ「アルサス」「ロレーヌ」二州ヲ失ヒタレモ消費額三百十萬五千  
四百二噸ニシテ其内四十三万八千七百三十四噸ハ外國産ナリ  
千八百七十六年佛國ニテ製セシ鐵及ヒ銅ノ量左ノ如シ

生鐵

一三二九五、六五六噸五

熟鐵

八七〇、三一一噸六



銅

一三三〇八二八噸五

同年産出セシ石炭等ノ量ハ左ノ如シ

無燐石炭

一三二二三一六一噸

石炭

一五四九六四〇二噸

褐炭

四二八一九七噸

英國鑛業ノ盛ナルハ宇内ニ冠タル所ナリ「イングラント」及ヒ「ウェールズ」二州ニテ採鑛冶金ヲ業トスル者百万人ニ過キ蘇格蘭及ヒ愛爾蘭ニテハ九十方餘人アリ千八百七十七年一月ノ調査ニ據レハ英國全部ニアル鑛爐ノ數ハ九百六十八基建築中ノモノ二十一基アリ英國産出ノ鑛物量數及ヒ價額ヲ左ニ擧ク

| 物産 | 噸         | 價額ポント    | 噸          | 價額ポント     |
|----|-----------|----------|------------|-----------|
| 石炭 | 一〇一六三〇五四四 | 二五四〇七六三五 | 一三二一八六七一〇五 | 四六一六三三四八六 |
| 鐵  | 四五二二三八九七  | 一一三〇九七四二 | 六三六五四六二    | 一五六四五七七四  |

此高ハ英國鑛務官刊行ノ書ニ依リテ記スル所トシ小差アルハ出所ノ異ルニヨリ

| 銅       | 錫      | 鉛       | 亞鉛     | 銀      | 他金    | 合計        |
|---------|--------|---------|--------|--------|-------|-----------|
| 一三二一五三  | 九九九〇   | 六七三九〇   | 三一九二   | 六二六一八八 | 未詳    | 一〇六二四六一六六 |
| 一〇一九一六八 | 八八五三六八 | 一三八一五〇九 | 六九九一六  | 一七四九五一 | 九五〇〇〇 | 四〇三四三二八九  |
| 四三七六    | 九六一四   | 五七四三五   | 六七一三   | 四八七三五八 | 未詳    | 一三八三一〇六〇五 |
| 三九二一九一  | 八六六二六六 | 一二九〇三七三 | 一六二七九〇 | 二五七七四四 | 三三六〇五 | 六四五五〇二二九  |

千八百七十六年英國ヨリ輸出セシ諸金石ノ價額ハ二千九百六十二万三千八百五十二「ポンド」輸入ハ千七百五十三万五千七百九十一「ポンド」其内再輸出セシモノ三百二十三万六千四百十七「ポンド」アリ  
澳、白露國ノ如キモ鑛物ヲ出品セシテ頗ル多シト雖モ一々其産額等ヲ擧クルニ違アラズ故ニ諸鑛物中最要ナル石炭ト鉄トニ付宇内各國産出ノ形况ヲ左ニ示ス採鑛冶金ノ事ハ米國博覽會報告書ニ記スル所頗ル詳ラカナリ參觀スベシ



宇內各國產出石炭表

| 國名     | 年號      | 噸數        | 年號      | 噸數        | 每百增加ノ比例 |
|--------|---------|-----------|---------|-----------|---------|
| 英吉利    | 千八百六十六年 | 一〇三〇六九八〇四 | 千八百七十六年 | 一三五六一一七八八 | 三一五七    |
| 獨逸     | 全       | 二八一六二八〇五  | 千八百七十七年 | 四八二九六三六七  | 七一四八    |
| 佛蘭西    | 全       | 一二三三四四五五  | 全       | 一六八八九二〇一  | 三八〇四    |
| 白耳義    | 全       | 一二七七四六六二  | 七十六年    | 一四三二九五七八  | 一二一七    |
| 澳斯利    | 全       | 四八九三九三三   | 全       | 一三三六二五八六  | 一七五〇八   |
| 露斯亞    | 全       | 二七一五三三    | 七十五年    | 一七〇九二六九   | 五二九四九   |
| 西班牙    | 全       | 四三二六六四    | 七十六年    | 七〇六八一四    | 六三三六    |
| 以太利    | 全       | 七〇〇〇〇     | 七十五年    | 一〇二二四〇    | 四五九一    |
| 瑞典     | 全       | 三六四六七     | 七十六年    | 九二三五二     | 一五三二五   |
| 右ノ外歐諸邦 | 全       | 未詳        |         | 八〇〇〇〇     | 未詳      |
| 米國     | 千八百六十六年 | 二一八五六八四四  | 千八百七十五年 | 四八二七三四四七  | 一二〇八五   |

宇內各國產出鐵表

| 國名   | 年號      | 噸數          | 年號   | 噸數          | 每百增加ノ比例 |
|------|---------|-------------|------|-------------|---------|
| 他米國  | 全       | 五五八五一九      | 七十六年 | 七〇九六四六      | 二七〇六    |
| 諸州   |         | 未詳          |      | 四〇〇〇〇〇      | 未詳      |
| 亞細亞  |         |             |      | 四一二〇〇〇〇     | 未詳      |
| 亞弗利加 |         |             |      | 一〇〇〇〇〇〇     | 未詳      |
| 豪洲   | 六十八年    | 七七四〇〇〇      | 七十六年 | 一三八〇〇〇〇     | 七八二九    |
| 合計   |         | 一八五、一三五、六八六 |      | 二八六、一六三、一八八 |         |
| 英吉利  | 千八百六十六年 | 四、五九六、二七九   | 七十六年 | 六、六六〇、八九三   | 四四、九二   |
| 獨逸   | 全       | 一〇〇〇、四九二    | 全    | 一、六一四、六八七   | 六一、三八   |
| 佛蘭西  | 全       | 一二六〇、三四八    | 七十七年 | 一、四五三、一二二   | 一五、三〇   |
| 白耳義  | 全       | 四八二、四〇四     | 七十六年 | 四九〇、五〇八     | 一、六八    |
| 露斯亞  | 全       | 三一四、八五〇     | 七十五年 | 四二六、八九六     | 三五、五九   |



|                  |             |  |                  |                  |                                      |             |                  |             |                  |                       |             |          |
|------------------|-------------|--|------------------|------------------|--------------------------------------|-------------|------------------|-------------|------------------|-----------------------|-------------|----------|
| 澳<br>斯<br>利<br>全 | 瑞<br>典<br>全 | リ<br>ユ<br>ク<br>サ<br>ン<br>ビ<br>ユ<br>ル<br>グ<br>全 | 西<br>班<br>牙<br>全 | 以<br>太<br>利<br>全 | 右<br>ノ<br>外<br>歐<br>州<br>諸<br>邦<br>全 | 米<br>國<br>全 | 他<br>米<br>州<br>全 | 諸<br>邦<br>全 | 亞<br>細<br>亞<br>全 | 亞<br>弗<br>利<br>加<br>全 | 豪<br>洲<br>全 | 合<br>計   |
| 二八四六三八           | 二三〇六七〇      | 四六四六〇  | 三九二五四            | 二二二〇〇            | 未詳                                   | 一二二五〇三一     | 未詳               | 未詳          | 全                | 全                     | 全           | 九五〇二六二六  |
| 七十六年             | 全           | 全  | 七十三年             | 七十五年             | 七十六年                                 | 七十七年        |                  |             |                  |                       |             |          |
| 四〇〇四二六           | 三五二七一八      | 二三二六五八   | 四二八二五            | 二〇二七八            | 六〇〇〇〇                                | 二三五一六一八     | 二五〇〇〇            | 六〇〇〇〇       | 三〇〇〇〇            | 一五〇〇〇                 | 全           | 一四三二四六一九 |
| 四〇六八             | 五二四八        | 三九八六二  | 八九二              |                  | 未詳                                   | 九一九六        | 未詳               |             |                  |                       |             |          |

「ベッスマル」鋼鐵產出ノ形況ハ左ノ如シ

|             |                  |        |             |             |             |        |             |          |
|-------------|------------------|--------|-------------|-------------|-------------|--------|-------------|----------|
| 英<br>吉<br>利 | 米<br>合<br>衆<br>國 | 獨<br>逸 | 佛<br>蘭<br>西 | 澳<br>斯<br>利 | 白<br>耳<br>義 | 瑞<br>典 | 露<br>斯<br>亞 | 合<br>計   |
| 二           | 一                | 一      | 一           | 一           | 一           | 一      | 九           | 九        |
| 五           | 一                | 八      | 七           | 三           | 二           | 九      | 二           | 七        |
| 製           | 製                | 製      | 製           | 製           | 製           | 製      | 製           | 製        |
| 鋼           | 鋼                | 鋼      | 鋼           | 鋼           | 鋼           | 鋼      | 鋼           | 鋼        |
| 爐           | 爐                | 爐      | 爐           | 爐           | 爐           | 爐      | 爐           | 爐        |
| 四           | 七                | 一      | 六           | 二           | 二           | 八      | 四           | 四        |
| 產           | 產                | 產      | 產           | 產           | 產           | 產      | 產           | 產        |
| 額           | 額                | 額      | 額           | 額           | 額           | 額      | 額           | 額        |
| 噸           | 噸                | 噸      | 噸           | 噸           | 噸           | 噸      | 噸           | 噸        |
| 七六二〇〇〇      | 五三四四二二           | 三九〇四三四 | 二一八〇〇〇      | 九七四七〇       | 七五二五八       | 二二二一三八 | 八六三六        | 二二一〇八三四八 |
| ノ           | ノ                | ノ      | ノ           | ノ           | ノ           | ノ      | ノ           | ノ        |
| 比           | 比                | 比      | 比           | 比           | 比           | 比      | 比           | 比        |
| 例           | 例                | 例      | 例           | 例           | 例           | 例      | 例           | 例        |
| 增加          | 增加               | 增加     | 增加          | 增加          | 增加          | 增加     | 增加          | 增加       |
| 三六一         | 二五三              | 一八五    | 一〇四         | 四六          | 三六          | 一一     | 〇四          | 一〇〇〇     |

何國ヲ論セテ鐵道ノ増減ハ炭鐵ノ産額ト密接ノ關係アルモノナレハ各國鐵道ノ里程ヲ附記  
スルハ敢テ益ナシトスベカラス  
千八百五十年來ノ六週年間各國鐵道ノ全里程ヲ示スヲ左ノ如シ



| 國名     | 鐵道里程    | 百キロメートルニ付 | 民口一萬ニ付 |
|--------|---------|-----------|--------|
| 千八百五十年 | 四一八九七   | キロメートル    |        |
| 全 六十年  | 一〇八六二六  | 全         |        |
| 全 七十年  | 二一、一〇九  | 全         |        |
| 全 七十三年 | 二六八三三三  | 全         |        |
| 全 七十五年 | 二九三八一三  | 全         |        |
| 全 七十七年 | 三二、一三七二 | 全         |        |
| 獨逸     | 三〇、三〇三  | 五、六       | 七、一    |
| 英吉利    | 二七、五四〇  | 八、七       | 八、一    |
| 佛蘭西    | 二、三三八三  | 四、四       | 六、三    |
| 露西亞    | 二〇、四六七  | 〇、三八      | 二、八    |

千八百七十七年十二月宇内各國鐵道里程ノ詳細左ノ如シ但シ「ブロンベルグ府博士」スチユルメン氏ノ調査ニ據ル

|     |       |       |      |
|-----|-------|-------|------|
| 澳斯利 | 一八〇五八 | 二、九   | 四、八  |
| 以太利 | 八、二一〇 | 二、八   | 二、九  |
| 西班牙 | 六、一九九 | 一、二   | 三、七  |
| 瑞典  | 四、七九一 | 一、一   | 一〇、八 |
| 白耳義 | 三、七一〇 | 一、二、六 | 六、八  |
| 瑞西  | 二、五六五 | 六、二   | 九、三  |
| 和蘭陀 | 一、九七四 | 五、五   | 四、八  |
| 土耳其 | 一、五三七 | 〇、四二  | 一、六  |
| 帝抹  | 一、四四六 | 三、八   | 七、六  |
| 羅馬尼 | 一、二三三 | 一、〇   | 二、四  |
| 葡萄牙 | 九六八   | 一、一   | 二、三  |
| 諾耳威 | 八〇二   | 〇、〇二五 | 四、四  |
| 希臘  | 一二    | 〇、〇二四 | 〇、〇八 |



|      |        |      |      |
|------|--------|------|------|
| 歐洲合計 | 一五三一九八 | 二五   | 四九   |
| 亞細亞  | 一三〇九六  | 〇、〇三 | 〇、一六 |
| 亞弗利加 | 三二五五   | 〇、〇一 | 〇、一七 |
| 米合衆國 | 一二八一八七 | 一、三  | 三二、九 |
| 米國各邦 | 一八七五二  |      |      |
| 米國合計 | 一四六九三九 | 〇、三五 | 一七、二 |
| 豪洲   | 四七八四   | 〇、〇五 | 一〇、六 |
| 各國總計 | 三二二二七二 | 〇、二四 | 二、三  |

以上各國炭、鉄産額并鐵道里程表ハ本年澳國「テブリツ」、府鐵道局長「ヘカール」氏カ巴里府大博覽會ニ際シ專門諸大家ノ協賛ヲ以テ編輯刊行シタル書中ヨリ抄譯セシモノニ係ル西人云フ鉄ハ工業ノ麴麥ニシテ石炭ハ其神魂ナリト炭鉄ノ工業ニ必要ナル以テ知ルベシ

山林産品

佛國山林ハ合計九百十八万七千三百四「エクタール」其内官林ハ九十六万七千百十八「エクタ

「ル」邑林二百〇九万〇七百八十八「エクタール」私林六百十二万九千三百九十八「エクタール」ナリ

此諸林ヨリ産スル木材ハ毎年凡ソ二千万「メートル」立方ニシテ内建築材二百五十万「メートル」立方燃材千七百五十万「メートル」立方ノ割合ナリ

近來石炭ヲ以テ薪木ニ代用シ鐵ヲ以テ木ニ代フルノ風漸次流行スレテ運輸ノ便宜益々大ナルニ隨ヒ木材ノ消費愈々多キヲ見ル

佛國ニテ年々用ユル所ノ木材左ノ如シ

第一建築及ヒ工業ニ用ユルモノ九百四十一万「メートル」立方其目左ノ如シ

- 造船 七万「メートル」立方
- 砲兵土工兵 四万「メートル」立方
- 鐵道 二十万「メートル」立方
- 家屋 百二十万「メートル」立方
- 板棒類 三百九十万「メートル」立方



車柄家具類

四百万メートル立方

第二燃料二千二百万「ステール」内譯左ノ如シ

薪

千六百万ステール

炭

六百万ステール

需要ノ多キヲ此ノ如シ故ニ自國ノ産ニテハ之レニ應スルニ足ラス年々各國ヨリ輸入スルモ  
ノ千百四十一万「メートル」立方ニ及フト云フ

千八百七十七年ニハ木材輸入ノ高二億〇三百九十一万九千佛ニシテ重モニ瑞、諾、獨、以、白  
等ヨリス而シテ同年ノ輸出ハ四千四百万佛ニ過キス

山林工業中ノ重ナルモノハ「キルク」製造、炭、燒、皮、柔、メ、ス、木、皮、ヲ、採、ル、ヲ、及、ヒ、松、脂、製、造、等、ナ、リ  
今唯「キルク」ニ就テ左ニ其概畧ヲ擧ク

キルク

「キルク」ハ「シエヌ、リエー、ジュ」一種ノ「ト唱フル木ノ皮ニシテ重モニ「アル、ジエ、リー」コルス「島西

班牙及ヒ佛國南部等ニ産ス此木ハ生長シテ十二年乃至十五年ニ及ヘハ既ニ粗惡ナル「キルク

ク」ヲ生ス此「キルク」ハ浮袋ヲ製シ又ハ燒テ畫家用ノ黒色顔料、即チ西班牙黒色ト唱フルモノ  
ヲ作ルベシ其後九年又ハ十年毎ニハ其質精好緻密ノモノトナル以テ瓶ノ栓其他ノ諸品ヲ製  
スルニ用ユベシ

佛國ニテ「キルク」ヲ製スルハ重モニ「ウハル州」ロテカロンヌ、州ノ數州ニ於テ往時手ニテ製  
セシ頃ハ一人ニテ一日千二百乃至千三百個ヲ成スニ過キサリシモ小機械ヲ用ユルニ至リシ  
後ハ栓ノ大小ニヨリテ四千乃至六千個ヲ作り得ベシ

「キルク」ノ需用ハ近年大ニ増加シ千八百五十五年ニハ輸入高二十五万七千佛ナリシモ同七十  
六年ニハ二百九十四万佛ニ上レリ而シテ輸出ハ二十六万佛ノモノ増シテ五十七万佛ニ及シ  
ト云フ

外國部中山林ニ干スル出品ハ澳國ヲ推シテ第一トス同國政府ニ於テハ本會ニ當リ博士「マル  
ベツト」氏ニ命シ同國ノ山林並山林ヨリ産スル諸品ノ製造貿易ノ形况等ヲ擧ケ一書ヲ著述セ  
シメタリ同氏ハ澳國博覽會ノ時ニハ維府ノ近傍「マリアブルン」山林學校ノ博士タリシ同會  
我事務局員緒方道平カ從遊セシ教師ノ一員タリ元澳國博覽會副總裁佐野常民ノ囑託ニ應シ



テ述作シタル山林經濟論一篇アリ載セテ澳國博覽會報告書山林ノ部中ニ出ツ今回同氏カ著述セシ書ハ同國山林ノ廣狹木材產出ノ多寡輸出入ノ大小等記載極メテ詳カニ其間各國ノ例ヲ引テ比較ニ便セリ澳國山林ノ管治法等ハ維府博覽會報告書ニ就キテ見ルベシ今「マルベツト」氏ノ著書中歐州各國ノ形狀ニ涉ルモノ數條ヲ抄譯シテ左ニ擧ク

「マルヘット」氏カ書中ノ端首ニ下ノ表ヲ擧ク且ツ曰ク此表ニ由リテ山林ノ坪數ヲ以テ論スル所ハ露國ハ字内ノ第一ニ居ル之ニ次クモノハ澳國ニシテ瑞典亦殆ント澳國ニ同シ「フィンランド」及ヒ獨乙ハ其次ニシテ坪數相伯仲ス此二國ニ次クモノハ諾耳威ナリ

今歐州各國ニ就テ其國內ノ耕地ト山林トノ比例ヲ算スレハ其順序左ノ如シ

諾國ノ山林ハ耕地百分ノ「八十九、九三」ニ居リ「フィンランド」ハ「七十九、七六」瑞典ハ「七十五、七三」ニ居ル以テ右ノ諸國ニ於テハ山林工業ノ關係至大ナルヲ見ルベシ諾國ノ如キハ國產ノ本源ハ偏ニ山林ニ在リト云フモ亦可ナルベシ「フィンランド」瑞典モ亦稍然リトス

此諸國ニ亞クモノハ露國ナリ(耕地百分ノ四十七、四四ヲ占ム)露國ノ山林ハ至大至要ト云フニハ非レヒ他國ニ比スレハ關係甚々大ナリ

歐州中央及ヒ南部ノ諸國ハ上文北部ノ諸邦ト相距ル甚々遠シ氣候和温ナルニ應シテ山林益々減スルカ故ナリ

| 國名     | 山林坪數        | 一ハニ付 | 耕地百分ニ付 | 境土百分ニ付 |
|--------|-------------|------|--------|--------|
| 歐露斯亞   | 一九三、一九五、五一五 | 二、七三 | 四七、四四  | 四〇、〇   |
| 州地亞    | 一八〇、一〇八、五六  | 〇、五  | 三一、〇五  | 二七、六二  |
| 澳牙     | 九、一八九、七四一   | 〇、四五 | 三一、四一  | 二九、三三  |
| 內      | 八、八二一、一一五   | 〇、五六 | 三〇、六三  | 二五、九四  |
| 瑞典     | 一七、五六八、〇〇〇  | 四、一三 | 七五、七二  | 四二、八   |
| フィンランド | 一四、四五二、二〇三  | 七、八八 | 七九、七六  | 三九、六   |
| 獨乙     | 一四、一五四、三六二  | 〇、三二 | 二七、二一  | 二四、八八  |
| 諾耳威    | 一〇、二九三、三二五  | 五、八五 | 八九、九三  | 三一、一   |
| 西班牙    | 八、六三七、七一五   | 〇、五一 | 二六、九〇  | 一六、三   |
| 佛蘭西    | 八、三五七、〇六六   | 〇、二三 | 一五、九七  | 一五、四   |



| 國名    | 輸出    | 金額百分ニ付   | 輸    | 入     | 金額百分ニ付 | 輸出超過 | 輸入超過  |
|-------|-------|----------|------|-------|--------|------|-------|
| 土耳其   |       | 五四一七四一八  |      | 〇、五六  | 一九、七二  |      | 一四、〇  |
| 以太利   |       | 五〇二五、八九三 |      | 〇、一九  | 一九、一八  |      | 一六、〇二 |
| 葡 萄   |       | 一〇八五、九〇一 |      | 八、二五  | 二二、九〇  |      | 一一、二  |
| 希 臘   |       | 九四五、四八七  |      | 〇、六四  | 二二、九九  |      | 一八、〇  |
| 瑞 西   |       | 八二二、九一四  |      | 〇、三一  | 二七、五五  |      | 一九、〇  |
| 英 吉 利 |       | 七九九、三二〇  |      | 〇、〇二五 | 三、八八   |      | 二、四   |
| 白 耳 義 |       | 四六一、五二二  |      | 〇、〇九  | 一七、五八  |      | 一五、〇  |
| 和 蘭 陀 |       | 二一四、四七七  |      | 〇、〇六  | 八、六九   |      | 六、三   |
| 帝 抹   |       | 一八四、七二四  |      | 〇、〇九  | 六、三八   |      | 四、六   |
| 澳 斯 利 | 五八、九一 | 八、九七     | 六、三〇 | 一、〇九  | 五二、六一  |      |       |
| 瑞 典   | 五四、四五 | 四五、八五    | 一、二一 | 〇、七七  | 五三、二四  |      |       |

此表ハ歐洲各國山林ノ坪數ト民口境土トノ比較ヲ示セシモノナリ輸出入ノ比較ハ左ノ如シ

|       |       |       |        |      |       |       |
|-------|-------|-------|--------|------|-------|-------|
| 露 斯 亞 | 五〇、二九 | 八、一八  | 一〇九、三〇 | 四、三六 | 五〇、二四 | 五九、三〇 |
| 獨 乙   | 〇、五〇  | 未 詳   | 二、一三   | 二、〇四 | 二八、八六 |       |
| 諾 耳 威 | 三〇、九九 | 四六、四二 | 七三、六一  | 三、七〇 |       | 五九、九九 |
| 佛 蘭 西 | 一三、六二 | 〇、七四  | 二二、三六  | 二、三五 |       | 一四、八三 |
| 白 耳 義 | 八、五三  | 一、〇三  | 二二、三六  | 九、二四 | 二、七三  |       |
| 葡 萄   | 二、七三  | 五、三一  | 二二、三六  | 五、二一 |       |       |
| 帝 抹   | 二、七四  | 一、二一  | 二二、三六  |      |       |       |
| 英 吉 利 |       |       | 二二、三六  |      |       |       |

「マルヘット」氏ハ又卷末ニ於テ各國山林管治ノ得失ヲ論セリ其說ニ曰ク山林管治上ヨリシテ論スレハ澳國ハ歐洲北部ノ諸國、露國、「フィンランド」、典、諾等ニ優ルヲ見ル此諸邦ニテハ土地廣漠ニシテ運輸甚々艱難ニ地質氣候亦甚々長ナラス人煙稀薄ニシテ人民皆工業ニ長セサルナリ獨リ是故ノミナラス其山林管治ノ法ニ就キテ論スルモ澳國ト比肩スルニ足ラサルナリ



露國カ山林ヲ管治スルニ正規ヲ以テスルヤ日猶淺シ實ニ千八百四十一年以來ノトトス而シテ其正規ニ從フモ唯中央ト西南兩部ノ官林ニ過キサレナリ北部及ヒ東北部ノ山林ハ猶依然トシテ舊様ヲ改メサルモノ多シ

露國ノ私林ハ僅々二三ヲ除クノ外盡ク規則ヲ失ヒ弊害少ナカラズ就中樹木ヲ再植スルノ法甚タ宜シキヲ得ス近來稍其弊ヲ悟リテ大ニ改良ニ盡カスト雖モ未タ實効ヲ奏スルニ及ハス其原由ハ國土廣大ニシテ中央政府ノ監督普及シ難キニ在リ

又同國ニテ樹木ヲ採伐スルハ多クハ皆往來通シ易キ山林ニ於テセリ其害タルヤ亦甚シ今ニシテ早ク此風ヲ改メ得サレハ後來樹木ヲ輸出スルコト極メテ困難ナルニ至ラン露國ニテ私林管治ノ法ヲ一定シ北部及ヒ東北部ノ官林ヲ伐採スルノ必要ナルハ我輩ノ固ク信スル所ナリ同國山林ノ地方ハ川河多ク且ツ北方ハ海運ノ便アリ伐採ノ業蓋シ難キニ非サルヘシ若シ果シテ伐採ノ法ヲ改メハ同國ノ木材ハ市場ニ於テ今日ノ形況ヲ維持スルノミナラス更ニ一層ノ盛ヲ致スベシ若シ然ラスンハ他日産出ノ減スベキコト明カナリ

眼ヲ轉シテ瑞典山林ノ形狀ヲ見ルニ亦管治ノ法決シテ完全ナルモノニ非ス同國ニテ山林管

治ノ正規ヲ設ケシハ五十年來ニ過キス山林ノ坪數ハ未タ精細ニ知り難キコト露國ト同シ北部ニ存スル廣大ノ山林ハ未タ測量ノ業ヲ終ラサルナリ

同國山林ノ伐採其法ヲ得サルカ爲メニ大ニ弊害ヲ招キタリ遂ニ他國ノ爲メニ市場ヲ奪ハル、ニ至ラサルヤ保シ難キナリ

我澳國カ木材ノ市場ニ於テ第一等ノ地位ヲ占ムルハ我輩ノ満足スル所ナリ露國ハ材木ヲ有スルコト多シト雖モ伐採ノ便ナキヲ以テ其當サニ領スベキ市場モ却テ澳國ノ爲メニ占有セラレ、ニ至レリ露國ハ澳國ニ比スレハ十倍餘ノ山林ヲ有スルモ其輸出ハ澳國ニ及ハサルコト八百五十万「フロリン」ナリ瑞典ノ山林ハ露國山林ノ十一分ニ過キサレモ其輸出ハ却テ四百万「フロリン」ノ超過アリ但典國輸出ノ多キハ妄リニ材木ヲ伐採スルニ由レリト云ハサルベカラス

以上「マルヘット」氏ノ著書ニ就キテ其一部ヲ拔譯セシニ過キサレモ以テ形況ノ大略ヲ知ルニ足ルベシ抑モ山林ノ關係ハ重大ニシテ管治ノ方法宜シキヲ得サル時ハ國家ノ大害ヲ來タスヤ明ナリ澳國博覽會報告山林部中ニ詳悉遺ス所ナシ故ニ復タ贅セス



不可食農産物

農業産物中食用ニ供セサルモノハ本區第四十六小區ニ屬セリ其最モ要用ナルハ綿花、亞麻、大麻、羊毛、ホップ、油、蜂蜜、蜂蠟、樹脂、煙草、染料、秣草等トス今唯煙草ノ事ヲ畧記ス

佛國中始メテ煙草ヲ栽培シタルハ二百年前ニ在リ其耕作速ニ増加シ即今ハ一萬四千八百五十八「エクタール」ノ廣キニ及ヘリ千八百十五年政府ニテ全ク煙草專賣ノ權ヲ領シタリ其年ノ賣高ハ九百七十五萬四千「キログラム」其價五千四百萬佛政府ノ純益二千二百萬佛ナリシカ千八百七十六年ニハ賣高三千四百四十萬「キログラム」其價三億二千二百佛而シテ政府ノ純益二億六千二百萬佛ニ及ヘリ

機械ヲ以テ卷煙草ヲ製スルノ事ハ多年經驗ヲ積ミタレモ遂ニ其効無ク依然トシテ手製ニ係ル紙卷煙草ハ其製法簡易ナルカ故ニ機械ノ用其効ヲ奏シタリ

佛國ニテ賣買スル煙草ハ皆佛國中ノ製造ニ係レリ其輸入ニ係ルモノハ唯「マニラ」及ヒ「ハワナ」ノ卷煙草大約十萬「キログラム」アルノミ工人ノ全數二萬人餘ニシテ其内三千人ハ紙卷煙草ノ製造ニ屬ス紙卷煙草製造ノ盛ナリシハ十年以來ノ「ナリト」云フ

煙草製造ハ澳國ニテモ亦政府ノ專賣タリ同國ニテ産スル葉煙草ハ其量少フシテ需用ニ充ツルニ足ラス故ヲ以テ匈牙利及ヒ外國ヨリ輸入スルモノ多シ澳國ニハ製造所二十八所アリ工人二萬六千人餘ヲ役ス千八百七十六年製出セシ卷煙草、紙卷煙草等ノ全量ハ三十二萬二千二百四十三「キヤンタール」ニシテ政府ノ收入金五千九百六十四萬「ポンド」純益ハ三千七百六十七萬八千七百七十九「ポンド」ナリシト云フ

英國ニテハ近年煙草消費ノ量大ニ増加シ千八百七十六年ニハ四千萬斤ニ及ヘリ即チ民口一人ニ付一斤半内外ノ割合トス煙草稅ハ海關稅中第一等ニ居ル同年徵収セシ煙草ノ稅金ハ七百七十五萬〇四百三「ポンド」ノ多キヲ致タセリ

外國部中煙草ヲ出品セシハ西、露、米、蘭、白等ヲ最トス

西班牙ノ屬地タル「ハワナ」及「マニラ」ヨリ産スル煙草ハ其聲價天下ニ高ケレハ復タ論セズ露國紙卷煙草モ亦頗ル著名ナルモノニテ輸出甚タ多シ巴里府ニ出品セシ「アスモロフ」會社ノ如キハ毎年ノ製出全額二百萬「ルーブル」工人ハ千名ヲ役ス此外同社ニ下ラサル出品人數名アリ同國ニテ煙草ノ製造ハ政府ノ專賣ニ非ス



化學品

化學產品及と藥品類ハ第四十七小區ニ屬ス此種ノ出品ハ千差万別之レヲ大別シテ左ノ五種トナス

- 第一 純粹ノ化學產物即チ諸酸類
- 第二 顔料釉藥類
- 第三 ステアリン及脂肪
- 第四 石鹼及油
- 第五 藥品

礦水炭酸水モ亦此區ニ屬セリ

化學產品中最モ緊要ナルモノハ曹達及ヒ硫酸ノ二品ナリ凡ソ化學ニ屬スル工業ハ多ク此二品ニ依ラサルモノ無シ故ニ如シ此二品微セハ他ノ化學工業ハ決シテ進歩發達スルヲ能ハサルナリ澳國博覽會報告書中化學工業ノ部ニ於テ「ワックテル」氏カ論述スル所極メテ確實詳細ナリ就テ見ルベシ

千八百六十七年佛國ニテ產出セシ硫酸ノ量目ハ約九千万「キログラム」ナリシカ千八百七十七年ニハ一億五千万「キログラム」ニ及ヘリ此増加額六十万「キログラム」ノ曹達ハ皆化學工業ノ用ニ供スルナリ其近時化學產品ノ進歩セシヲ明知スヘシ  
曹達ヲ製スルニハ往時硫酸ヲ以テ海鹽ヲ分離シ硫酸曹達ヲ作り之ヲ燒キ以テ炭酸曹達ヲ作りシカ近時佛人「スレンジ」及ヒ「ロラン」二氏安母尼亞ヲ以テ曹達ヲ製スルノ法ヲ發明シタリ此法ヤ舊法ニ比スレハ經費少ナク且ツ製品モ亦大ニ純粹ナリ故ニ獨「白米」等ニテ硝子ヲ製スルニハ專ハラ新法ノ曹達ヲ用ユ是レ曹達ノ製造ニ極メテ緊要ナル進歩ナリ  
英國ニテハ曹達ノ製造所六十餘所アリ此工業ニ用ユル資金ハ凡ソ五百萬「ポンド」年々製造高ハ歐州諸國產出ノ全額ニ過クルト云フ  
西洋近時工業ノ進歩セシハ皆知學ト美術ノ作用ヲ借レルニ由レリ此二ツノ者ト工業トハ極メテ親密ナル關係ヲ有スルヲ理解スルハ勸業ノ第一要訣タリ而シテ知學中工業ニ有用ナルハ化學ヲ以テ最大トス其力ヲ借用スル工業ノ多キヲ枚舉ニ違アラヌ故ニ本區ノ出品夥多ナルハ言ハスシテ知ルベキナリ



「カウチユー」製品モ亦此部ニ屬セリ抑モ此工業ハ其起源久シカラスト雖モ次第ニ増加シテ止マラス後來我國ニ於テモ「カウチユー」品ノ需用漸ク増スベキヲ疑ヒナケレハ爰ニ數言ヲ贅ス

「カウチユー」ハ千七百三十六年佛人「ラコンダミンヌ」氏秘露ヨリ携ヘ歸リタルヲ以テ始メテ歐洲ニ入りタリ其後英佛ニテ之レヲ製シタルモ只字消ケシノ用ニ止マリ千八百二十年ノ後漸ク種々ノ功用ヲ増シ遂ニ今日ノ狀ヲナセリ

「カウチユー」即チ「ゴム」ハ赤道近傍ノ熱國ニ産ス其物タル樹木ノ膠汁ナリ樹ニ數種アリテ膠ノ質自カラ小異同アリ亞米利加産、亞細亞産、亞不利加産ノ三大類ニ分ツ、第一種亞米利加産ハ重モニ「ヘワギアチンシス」「カスチロア、エラスチカ」等ノ樹ヨリシ第二種亞細亞ノ産ハ「フヒキユス、エラスチカ」ウルセオラ、エラスチカ」等ヨリ第三種亞不利加産ハ「ランドルフヒア、オワリエンシス」等ヨリ出ツルナリ

皆樹木等ノ幹ニ傷ケ流出スル液汁ヲ取りテ方圓形ニ固メ其儘歐洲ニ送リテ種々ノ製造ニ用ユルナリ

ゴム製造ノ進歩ハ之レヲ鎔解スル法ト硫黃ヲ以テ其寒暑ノ爲メニ伸縮スルヲ防クノ法トヲ發明セシニ基ツケリ  
ゴム製ノ品物ハ其種類夥多ニシテ列挙シ難シ今度ノ會ニ出品ノ多キハ英、佛、米、白ヲ首トシ露、澳等之レニ次ク

佛國海港出品

佛國海港貿易ノ形況ヲ示サンカ爲メニ各港ノ商法會議所ヨリ輸出入物品並地方産物ノ見本類ヲ集メ且ツ各港ノ圖面ヲ掲ケテ其地勢ヲモ示セリ之レカ爲メ別ニ一館ヲ設ケ頗ル盛大ナリト稱スベシ

出品ノ地方ハ「ボルドー」「ブローギーユ」「ブレスト」「ハーブル」「マルセール」「ナント」「ルーアン」「ホンフロール」「フェカン」「ドンケルク」「セツト」等ニシテ「巴里府商法會議所」モ亦爰ニ出品セリ

此部ノ出品チ一々列舉スルハ甚タ難シ故ニ唯佛國海港貿易ノ形況ヲ左ニ略述スヘシ佛國海港中貿易最モ盛ナルハ「マルセール」「ハーブル」「ナント」「ボルドー」ノ四港ナリ

「マルセール」港々長ノ調査ニ由レハ千八百七十七年入港セシ船舶ノ數ハ八千〇五十五艘其



噸數二百五十八萬八千噸同港ヲ出テタル船舶ハ八千〇三十二艘ニシテ其噸數二百六十萬噸  
合計船數一萬六千艘餘噸量五百萬餘ナリトス是レ固ヨリ各國ノ帆船並汽船ヲ合併セシ數ニ  
シテ自國ノ船ハ全數八分ノ五ヲ占ム其内汽船ノ數ハ漸々増加シテ殆ント帆船ノ數ト同シ而  
シテ噸數ニ就キテハ汽船ノ帆船ニ過クルコト一倍ノ餘ニ至レリ

輸入物品中第一ハ麥ナリ其量目ハ佛國收獲ノ豐凶ニ應ズト雖モ大抵毎年百萬噸(一噸千キロ)ニ  
下ラス凶年ニハ「マルセール」ハ恰モ佛國ノ穀庫ノ如シ多惱河ヨリ埃及ヨリ小亞細亞ヨリ亞  
及爾等ヨリ麥ヲ輸入スルコト極メテ多ク巴里里昂ノ鐵道又ハ「ローマ」河ヲ經テ之ヲ内國各地  
ニ運轉ス

麥ニ亞クモノハ油種トス其量二十二萬噸次ハ粗製砂糖ニシテ其量六萬噸香球又之レニ次ク  
其量ハ二萬噸ナリ鑛物、金屬、木炭、石炭等ハ凡ソ十萬噸ナリ石炭ハ多ク内國「エーキス」近傍  
ノ鑛山「ガール」州ノ鑛山等ヨリ陸運スルモノニシテ「マルセール」近傍ノ製造所ニ用井又ハ汽  
船ニ用ユ而シテ輸出スルモノハ僅カニ其一部ニ過キス

輸入ノ家畜ハ以、西亞及爾ヨリス凡ソ三十萬頭ナリ皆船ニテ運送ス噸數ハ大ナラザルモ價

直高貴ナル物品ハ生糸、木棉、羊毛等ヲ第一トス皮革、オリーフ油、石腦油、葡萄酒、銘酒、米、乾菜、  
乾酪「カ、オ」、シヨコラトノ原實、鱈、鹽魚、胡椒、其他ノ辛料、藥品、烟草、蠟、硫黃、大理石、染料ニ用ユル木  
皮、家具建築ニ用ユル木材等亦多ク

「マルセール」税關ノ調査ニ由レハ千八百七十六年間同港ニ輸入セシ物品中重ナルモノ、噸  
數左ノ如シ

- 穀物 五二五、〇〇〇
- 鑛鑛 三七九、〇〇〇
- 油ヲ取ル種物及菓實 二二〇、〇〇〇
- 英產石炭 九〇、〇〇〇
- 木材 六六、〇〇〇
- 粗製砂糖 五九、〇〇〇
- 乾菜 四五、〇〇〇
- 鉛及鉛鑛 三〇、〇〇〇



|      |        |
|------|--------|
| 油    | 二七、〇〇〇 |
| 果實   | 二六、〇〇〇 |
| 香球   | 二三、〇〇〇 |
| 棉花   | 二三、〇〇〇 |
| 生硫黃  | 二二、〇〇〇 |
| 家畜   | 二一、五〇〇 |
| 熱國木材 | 二〇、〇〇〇 |
| 羊毛   | 一八、〇〇〇 |
| 獸皮   | 一五、〇〇〇 |
| 石腦油  | 一〇、〇〇〇 |
| 烟草   | 九、五〇〇  |
| 米    | 九、〇〇〇  |
| 生糸   | 七、七〇〇  |

右諸品ニ次クモノハ葡萄酒、脂肪、大麻等ナリ物品ノ價チ以テスレハ生糸第一ニ居ル其價三億二千八百萬佛其次ハ穀物トス一億二千五百萬佛ナリ  
 同港輸出品ノ重ナルモノハ麥及ヒ麥粉、絹布、棉布、毛布、精製砂糖、油糟、石鹼、油、酒、麵類、漬保食物、機械、化學産品、石炭、鉛、ガランヌ、茜根、陶器、硝子、海鹽等ナリ  
 千八百七十六年間輸出品中噸量多キモノハ左ノ如シ

|      |         |
|------|---------|
| 石炭   | 二〇〇、〇〇〇 |
| 穀物粉物 | 二〇、〇〇〇  |
| 精製砂糖 | 四四、〇〇〇  |
| 葡萄酒  | 三〇、〇〇〇  |
| 油糟   | 三〇、〇〇〇  |
| 建築材料 | 二三、〇〇〇  |
| 野菜   | 一六、四〇〇  |
| 陶器硝子 | 一四、四〇〇  |



|      |        |
|------|--------|
| 油    | 一三、四〇〇 |
| 香珠   | 一三、五〇〇 |
| 器械金物 | 一三、五〇〇 |
| 織物   | 一〇、五〇〇 |

今若シ價ヲ以テスレハ絹物第一等ニ居ルベシ  
 千八百七十七年同港輸出入ノ物品ハ合計二百七十萬噸ニシテ出入船舶噸數ノ半ニ過ク其中  
 輸入ノ量ハ百七十萬噸ナリ

概スルニ即今「マルセール」港輸出入品ノ全價ハ二十億佛ナルベシ

「ハーブル」港ハ「マルセール」ニ次テ盛ナル所ナリ

千八百七十六年「ハーブル」港ノ貿易形況ヲ察スルニ出入ノ船舶ハ一萬千九百三十一艘其噸  
 數ハ三百六十六萬五千噸ナリ千八百六十五年ニハ船舶ノ數ハ壹萬千四百九十九艘ニシテ噸  
 量百八十萬千噸ナリシ故ニ噸量ハ十年間ニ一倍シ船舶數ハ殆ント舊ニ同シキヲ知ルベシ是レ  
 貿易ノ皇張セシト船舶平均ノ噸量増加セシトニ由レルナリ

同年同港ヲ出入セシ貨物ノ總量ハ百六十萬噸ニシテ其中百二十萬噸ハ輸入ニ係ル  
 輸入品中價額ノ最大ナルハ米國又ハ印度産ノ綿花ナリ量目ノ最大ナルハ英國ヨリスル石炭  
 ナリ今量目ノ多少ニヨリ諸種ノ輸入品ヲ左ニ掲ク

|          |         |
|----------|---------|
| 石炭       | 三五三、〇〇〇 |
| 綿花       | 一三六、五〇〇 |
| 穀物       | 一二八、〇〇〇 |
| 普通木材     | 九八、〇〇〇  |
| 染用並家具用材木 | 八三、〇〇〇  |
| 香珠       | 四四、〇〇〇  |
| 肥料       | 三八、〇〇〇  |
| 羊毛       | 三〇、〇〇〇  |
| 銅        | 二五、〇〇〇  |
| 皮        | 一三、〇〇〇  |



|        |        |
|--------|--------|
| 油ヲ取ル種物 | 二〇、〇〇〇 |
| 脂肪     | 一九、〇〇〇 |
| 硝酸曹達   | 一五、〇〇〇 |
| 粗製砂糖   | 一三、〇〇〇 |
| 油      | 一二、〇〇〇 |
| 生鐵熟鐵鋼鐵 | 一一、〇〇〇 |
| 亞鉛     | 一一、〇〇〇 |
| 酒類     | 一〇、〇〇〇 |
| 烟草     | 一〇、〇〇〇 |

之レニアクモノハ生肉、漬肉、鉛、乾菜、米、カ、オ、石腦油、シユート、錫等ナリ  
 「ハーブル」ハ稱シテ棉花ノ港ト云フモ可ナリ佛全國ニ輸入スル棉花全量五分ノ四ハ皆同港  
 ヨリス香球モ亦同港ニ輸入スルコト多ク「ハンブルグ」アンウエルス「倫動」ト並行ス「カンペーシ  
 ヌ」樹ノ材モ亦專ハラ同港ヨリ輸入スル所ニテ此木ハ細末ニシテ染料トス

輸出品中價ノ最モ貴キモノハ織物皮革品ナレハ噸量ノ最大ナルハ石炭ニシテ其量十二万噸  
 ニ及ベリ之レニ次ク貨物ハ左ノ如シ

|        |        |
|--------|--------|
| 精製砂糖   | 二三、五〇〇 |
| 棉花     | 二二、五〇〇 |
| 樂器     | 一五、〇〇〇 |
| 香球     | 一三、三〇〇 |
| 陶器硝子   | 一〇、七〇〇 |
| 酒類     | 一〇、〇〇〇 |
| 絹布毛布棉布 | 九、〇〇〇  |
| 穀物     | 七、六〇〇  |
| 皮及ヒ毛皮  | 七、〇〇〇  |

此外ハ染料、熱帶國木材、米、機械、家具、及ヒ雜小品「巴厘品」最モ多シ等ナリ  
 同港ノ輸出入品ヲ合スレハ其價ハ十五億佛餘ナリト云フ佛國諸港中「ハーブル」港ニ過クル



ハ唯「マルセル」アルノミ  
 「ナント」港輸入品ノ最大ナルハ砂糖ナリ砂糖精製ノ工業盛ナルハ巴里府ニ次キ「マルセル」下比肩スベシ千八百七十五年「ナント」港ニ輸入セシ砂糖ハ六萬噸ニシテ其中六分ノ五ハ甘蔗製餘ハ甜菜製ニ係レリ千八百七十六年ニハ其量減シテ五萬五千噸ニ下レリ其原因ハ同港ノ大精製所一所焼失セシト砂糖ノ税額改正ノ議決セザルトニ由レリ  
 砂糖ノ外重立タル輸入品ハ英國石炭九十八萬七千噸北國木材五萬三千噸其次ハ左ノ如シ

- 白露國グアノ 一六、〇〇〇
- 肥料 一八、〇〇〇
- 生鍊熟鍊 一一、〇〇〇
- 吧嗎油 一一、〇〇〇
- 印度米 二九、〇〇〇
- 鉛及ヒ鉛鑛 四、八〇〇
- 油ヲ取ル種物 四、〇〇〇

カ、オ 二五〇〇  
 鍊鑛 二〇〇〇  
 大麻 二〇〇〇  
 オリーフ油 一、九〇〇  
 香珮 一、五〇〇  
 金屬 一、三〇〇  
 乾果 一、〇〇〇

此外ハ棕梠油、椰子油、磷酸、染用、及ヒ家具用、木材、棉花、鱈、乾酪、皮、亞麻、シユート、橙子、柚子、酒類、石腦油、辛料、肪脂等ナリ

輸出物ハ精製砂糖ヲ以テ第一トスベシ千八百七十五年ニハ一萬一千噸ヲ輸出シ七十六年ニハ減シテ八千噸ヲ輸出セリ

此品ヲ輸出スル地方ハ英國ヲ第一トス全額ノ過半ヲ占ム典、諾、帝ハ五分ノ一ヲ占メ西、典、亞及耳、白等ヲ其次トス砂糖ニ亞、ク、モノハ麥及ヒ粉物ニシテ凡ソ五萬六千噸ナリ其他ハ左ノ



如シ

|             |        |
|-------------|--------|
| 石炭          | 三七、〇〇〇 |
| 普通木材        | 二九、四〇〇 |
| 石板石         | 四、八〇〇  |
| 馬鈴薯         | 四、三〇〇  |
| 漬藏食物        | 三、四〇〇  |
| メラツス        | 二、九〇〇  |
| 結晶セザ<br>ル砂糖 | 二、四〇〇  |
| 葡萄酒         | 二、〇〇〇  |
| 米           | 二、〇〇〇  |
| 金屬製品        | 二、〇〇〇  |
| 毛布棉布麻布      | 二、〇〇〇  |
| 骨炭          | 一、三〇〇  |
| 油及ヒ油滓       | 一、二〇〇  |

牛酪

一、〇〇〇

此外ハ建築用木材、醋、燒酒、野菜、石灰、脂肪、葉、秣、草、鑊、革皮等トス

千八百七十六年「ボルドー」港出入船舶ハ二萬四千八百艘其積量ニ百萬噸餘ニシテ出入殆ン

ト相同シ輸出品第一ノモノハ葡萄酒ニシテ毎年「二百万」ヘクトリートル」ニ及ヒ佛全國所産

ノ三十分一ニ當ル

千八百七十六年同港輸出入品全價ハ五億五千四百萬佛ニ至リタリ

今噸量ノ多少ニヨリ重立タル輸入品ヲ舉クレハ左ノ如シ

|      |         |
|------|---------|
| 普通木材 | 四二九、〇〇〇 |
| 石炭   | 二八七、〇〇〇 |
| 穀物   | 一七、〇〇〇  |
| 肥料   | 一五、〇〇〇  |
| 粗製砂糖 | 一四、四〇〇  |
| 魚    | 一四、〇〇〇  |



|        |        |
|--------|--------|
| 香球     | 一二、六〇〇 |
| 落花生    | 一〇、七〇〇 |
| 生鏤熟鏤綱鏤 | 一〇、四〇〇 |
| 米      | 一〇、〇〇〇 |
| 石腦油    | 一〇、〇〇〇 |
| カ、オ    | 八、六〇〇  |
| 烟草     | 八、六〇〇  |
| メラツス   | 七、四〇〇  |
| 羊毛     | 六、〇〇〇  |

此外ハ鱈、油ヲ取ル種物、燒酒、建築用石、烟草、牛酪、油、エム、大麻、葡萄酒、硝酸曹達等トス  
價額ヲ以テ論スルモ木材第一ニ居ル其價四千二百萬佛其次ヲ皮トス價二千八百萬佛羊毛ハ  
其次キニシテ千五百萬佛ナリ

「ポルトウ」港輸出品中第一等タル葡萄酒ノ量ハ千八百七十六年ヨハ十四萬噸燒酒、利休酒等

ハ此外ニシテ凡ソ一萬五千噸ナリ量目ノ葡萄酒ニ超ユルハ木材ノミニテ其全量ハ二十二萬  
七千噸ナリ  
其次ハ左ノ如シ

|       |        |
|-------|--------|
| 石炭    | 三九、五〇〇 |
| 陶器硝子  | 一二、〇〇〇 |
| 果物    | 九、〇〇〇  |
| 精製砂糖  | 八、〇〇〇  |
| 航海用魚類 | 六、〇〇〇  |
| 穀物    | 六、〇〇〇  |
| 樹膠    | 六、〇〇〇  |

此外ハ燐酸、石灰質ノ肥料、機械、酒石散、剝篤斯、乾菓、野菜、松露、其他ノ雜品トス

佛國四大港貿易ノ形況ハ概畧此ノ如シ今全國輸出入ノ形勢ヲ舉ケテ以テ此篇ヲ了ルベシ  
千八百七十六年ノ調査ニ由レハ佛國商船ハ合計一萬五千四百〇七艘アリテ積量ノ合計八百



萬噸水夫ノ數ハ九萬五千人ナリ

右船舶ノ中帆船一萬四千八百六十一艘ニシテ積量二十一萬三千四百五十噸トス故ニ帆船ノ積量ハ平均五十噸餘ニ當レリ 汽船ハ平均凡ソ四百噸ニ當ル故ニ蒸氣一艘ハ帆船八艘ニ當ルノ割合ナリ

千八百七十六年佛國各港ニ入リタル船ハ五萬四千艘ニシテ其輸入セシ貨物ハ千四百萬噸ナリ 五萬四千艘ノ内三万千艘ハ帆船二萬三千艘ヲ汽船トス其國ヲ分ツトハ左ノ如シ

佛 帆船

一萬二千

一萬八千艘

同 汽船

六千

外國帆船

一萬九千

三萬六千艘

同 汽船

一萬七千

ノ五萬四千艘

此調査ニ據レハ佛國ノ船舶ハ外國商船ノ半ハニ過キス

噸數ノ比例ヲ論スレハ佛國船ノ積量百分ノ三十五ニ當レリ乃チ

佛國帆船ノ噸數

一、六〇〇、〇〇〇

五、一〇〇、〇〇〇

同 汽船

三、五〇〇、〇〇〇

外國帆船ノ噸數

三、〇〇〇、〇〇〇

九、〇〇〇、〇〇〇

同 汽船

六、〇〇〇、〇〇〇

メ千四百十萬噸

千八百七十六年海陸ヨリ佛國ニ輸入シタル貨物及ヒ同國ヨリ輸出シタル貨物ノ合計ハ二千三百萬噸其内輸入ハ千六百五十萬噸輸出ハ六百五十萬噸ニ居レリ 右合計二千三百萬噸ノ内千四百萬噸ハ海路ヨリ出入シ陸路ヨリセシハ九百萬噸ニ過キス 海路ヨリ出入セシ貨物ノ往來地方及ヒ噸數ハ左ノ如シ

英吉利

五、五〇〇、〇〇〇

亞及耳

一、三〇〇、〇〇〇

米合衆國

九〇〇、〇〇〇

露斯亞

七〇〇、〇〇〇



此諸品ヲ輸出入セシ海港及ヒ其量目ノ比例ハ下ノ如シ

|             |            |
|-------------|------------|
| 以太利         | 七〇〇、〇〇〇    |
| 西班牙         | 六〇〇、〇〇〇    |
| 獨乙          | 六〇〇、〇〇〇    |
| 土耳其、瑞典、諾耳威  | 三、七〇〇、〇〇〇  |
| 亞米利加、西班牙ノ屬地 | 一四、〇〇〇、〇〇〇 |
| 合計          | 二六、二五〇、〇〇〇 |
| マルセル        | 一六〇〇、〇〇〇   |
| ハーブル        | 一、五〇〇、〇〇〇  |
| ポルドウ        | 九四五、〇〇〇    |
| ドンケルク       | 七四六、〇〇〇    |
| ナント及ヒサンナゼール |            |

|        |            |
|--------|------------|
| ルーアン   | 六四六、〇〇〇    |
| セツト    | 五六〇、〇〇〇    |
| デエツプ   | 五四二、〇〇〇    |
| ブーローギユ | 三六九、〇〇〇    |
| 巴里     | 三五〇、〇〇〇    |
| カレー    | 二六三、〇〇〇    |
| パイヨンヌ  | 一〇九、〇〇〇    |
| ニース    | 五六、〇〇〇     |
| 他港     | 三、六八九、〇〇〇  |
| 合計     | 一四、〇〇〇、〇〇〇 |



○第六章 第七大區食用品 穀物及ヒ粉物類 砂糖鹽酒類

穀物粉物類

佛國穀類ノ產出高ハ千八百年代ノ初メヨリ増加シテ止マス其故ハ耕地ノ増加セシテ耕作ノ法進歩セシテ及ヒ良種ヲ以テ舊種ニ代ユルヲ等ニ據レリ千八百七十四年中產出ノ表ヲ掲ケ併セテ其價值及ヒ田地ノ全額ヲ示ス左ノ如シ

| 穀名   | 田地<br>エクタール | ニ付產出高<br>一エクタール | 產出全額        | トル平均價<br>一エクトリツ | 價額總計          |
|------|-------------|-----------------|-------------|-----------------|---------------|
| 小麥   | 六、九四四、六一四   | 一九、六四           | 一三六、三六七、七九八 | 二一、三四           | 二、八九六、〇八〇、四五三 |
| メテール | 四六〇、三六三     | 一八、六三           | 八、五七八、一五九   | 一七、五六           | 一、五〇、六七三、六六四  |
| 裸麥   | 一、八四四、二一〇   | 一五、三六           | 二八、三二九、六九二  | 一五、三七           | 四、三五〇、三五二、二七七 |
| 大麥   | 一、〇八三、〇五三   | 一八、四七           | 二〇、〇〇六、三〇四  | 一四、〇五           | 六、一一一、四〇、三三四  |
| 蕎麥   | 六九一、八四〇     | 一七、四八           | 一二、〇九四、二一四  | 一七、五五           | 一、五一一、八〇二、一〇一 |

| 玉蜀黍<br>及ヒ粟   | 燕麥          | 合計            |
|--------------|-------------|---------------|
| 六三五、一六六      | 三、二四六、二二四   | 一四、九〇五、三八〇    |
| 一六、四八        | 二二、〇四       |               |
| 一〇、四七一、六八二   | 七一、五三一、一一九  | 二八七、三七八、八六八   |
| 一四、三九        | 一一、五五       |               |
| 一、五〇、七七九、五九三 | 八二六、五八一、三九二 | 四、六七二、一六六、四六〇 |

西洋食物中消費ノ尤モ大ナルモノハ麥粉ニ過クルモノナシ佛國產出高ノ巨大ナルヲ知ラントセハ毎日消費スル高ニ其輸出高ノ輸入ニ超過スルモノヲ加ヘハ其全額ノ如何ヲ知ルベシ  
佛國ニテ一日一人ノ消費スル麥包ハ平均五百八十二「グラム」ニシテ其粉四百五十「グラム」ノ割合ナリ全國ノ人口三千六百萬ナレバ一日要スル所ノ粉ハ千六百二十萬「キログラム」ニシテ一年ニ五十九億千三百萬「キログラム」ナリ  
千八百七十二年ヨリ七十六年マテ五年間麥粉ノ輸入ハ平均一年二千三百二十四萬七千六百六十「キログラム」輸出ハ一億二千五百九萬三千八百八十「キログラム」ナリ故ニ毎年輸出ノ輸入ニ超過スルコト一億千八百八十四萬六千二百二十「キログラム」之レニ消費高ヲ加フンハ六十億二千四百八十四萬六千二百二十「キログラム」ノ巨額トナル今一「キログラム」平均三十八佛



ト概算スル時ハ其全價二十二億佛ノ餘ニ上ルナリ  
 「ウエルミセル」マカロニー」等ノ麵類ハ往時只以太利ノミ之レヲ製シ其利ヲ全有セシカ佛國  
 ニテモ亦之レヲ製シ即今ハ以太利産ト相頡頏スルノ勢ニ至レリ毎年ノ製出高凡ツ三千萬キ  
 ログラムトス  
 千八百七十二年ニハ輸入ノ高六十八萬四千四百七十三キログラムニシテ輸出ノ高ハ七千  
 三百九十一萬千五百五十七キログラムニ及ベリ七十二年ヨリ七十六年マテ五年間輸出ノ超  
 過額合セテ二千九十四萬八千三百九キログラムナリ  
 麵類ノ價ハ通常品ニシテ百キログラムニ付六十佛里昂製上等品ハ八十佛ニ及ベリ  
 以國ハ氣候地味共ニ其宜シキヲ得テ農産物ヲ生スルノ頗ル多シ本會以國ノ出品セシ見本類  
 ハ千五百種ニ及ベリ其調査ニ由レバ同國毎年産スル所ノ小麥ハ三千二百萬「エクトリットル」  
 玉蜀黍三千百萬「エクトリットル」米一千萬「エクトリットル」大麥及ヒ裸麥七百萬「エクトリッ  
 トル」燕麥七百萬「エクトリットル」ニシテ穀物ノ輸出ハ輸入ニ超過スルヲ著大ナリ  
 以國麵類ハ其聲價甚タ高ク隨ツテ其貿易頗ル大ナリ

同國ヨリ産スル阿利穰子ハ其額平均二千四百萬「エクトリットル」重モニ油ヲ取ルニ用ユ此外  
 菜油、麻油、棉油等亦同國ヨリ多ク産ス

露國輸出品ハ穀物ヲ以テ第一等トス千八百七十五年ニハ其價一億八千〇四十九萬二千一ル  
 ブル「同七十六年ニハ二億〇三百五十五萬八千「ルーブル」ニ及ベリ  
 米國ニテモ亦穀物ヲ産スル極メテ多ク千八百七十六七年ノ會計年度間輸出ノ價額ハ七千三  
 百九十萬弗餘ニ及ヒ此外玉蜀黍ハ輸出四千三百萬弗餘ニ上レリ  
 五穀ハ各國共出品アラザルモノ無ク一々細論シ難シ仍テ今爰ニ佛國農商務省ニテ刊行セル  
 萬國農業統計書ヨリ各國人口ト穀物産量トノ比例表ヲ掲ケテ左ニ示ス

|    |     |      |    |         |   |
|----|-----|------|----|---------|---|
| 第一 | 羅馬尼 | 一人ニ付 | 十四 | エクトリットル | 四 |
| 第二 | 帝抹  | 全    | 十一 | 全       | 八 |
| 第三 | 露斯亞 | 全    | 八  | 全       | 一 |
| 第四 | 孛漏  | 全    | 八  | 全       | 〇 |
| 第五 | 佛蘭西 | 全    | 六  | 全       | 九 |



|     |        |      |   |          |   |
|-----|--------|------|---|----------|---|
| 第六  | 匈牙利    | 一人三付 | 六 | ニクトリットル八 | 八 |
| 第七  | 巴威里    | 全    | 六 | 全        | 五 |
| 第八  | 瑞典     | 全    | 五 | 全        | 五 |
| 第九  | 獨乙公邑   | 全    | 五 | 全        | 一 |
| 第十  | 白耳義    | 全    | 四 | 全        | 九 |
| 第十一 | 西班牙    | 全    | 四 | 全        | 九 |
| 第十二 | 澳斯利    | 全    | 四 | 全        | 七 |
| 第十三 | 威丁堡    | 全    | 四 | 全        | 七 |
| 第十四 | 索爾蘭    | 全    | 四 | 全        | 六 |
| 第十五 | 土耳其    | 全    | 四 | 全        | 六 |
| 第十六 | フヘンランド | 全    | 四 | 全        | 四 |
| 第十七 | 英吉利    | 全    | 四 | 全        | 二 |
| 第十八 | 索遜王國   | 全    | 三 | 全        | 八 |

|      |     |   |   |   |   |
|------|-----|---|---|---|---|
| 第十九  | 塞耳威 | 全 | 三 | 全 | 八 |
| 第二十  | 和蘭陀 | 全 | 三 | 全 | 二 |
| 第二十一 | 諾耳威 | 全 | 三 | 全 | 一 |
| 第二十二 | 希臘  | 全 | 三 | 全 | 一 |
| 第二十三 | 以太利 | 全 | 二 | 全 | 八 |
| 第二十四 | 葡萄牙 | 全 | 二 | 全 | 八 |
| 第二十五 | 瑞西  | 全 | 二 | 全 | 一 |

此表ニ據レハ白耳義、英國、威丁堡、索遜、和蘭ノ如キ土地最モ闊ケタル國ハ却テ上流ニ居ラサルナリ其理由ハ人烟稠密ナルニ在リ羅馬尼及ヒ露國ハ沃野多ク人口隨ツテ稀ナリ故ニ却ツテ第一等ニ位スルナリ

千八百七十三年ニハ歐洲全部ノ産額十八億千六百萬「エクトリットル」之レヲ二億九千七百萬ノ人口ニ割レバ每一人六「エクトリットル」餘トナル米國ノ産額ハ五億五千九百萬「エクトリットル」之レヲ四千萬ノ人口ニ割ル時ハ每一人十四「エクトリットル」ニ當ル



砂糖鹽酒類

砂糖ハ本大區ノ第七十四小區ニ屬セリ

砂糖ノ製造ハ佛國ニ於テ甚タ盛大ナリ產出スル處凡ソ二十七州「ノール」「エーヌ」「ソンム」「パードアレー」「オワーズ」諸州ヲ以テ首トス甜菜ヨリ取ル砂糖ノ工場ハ五百二十所精製場三十四所アリ工人六萬人蒸瀾機械二千八十個其力ハ十萬四千馬力トス

佛國ニテ毎年製出スル甜菜砂糖ハ十億キログラム「屬地ヨリ產スル甘蔗砂糖ハ十八億」キログラムナリ

甜菜及ヒ甘蔗ヨリ製スル砂糖ノ細目ヲ左ニ舉シ

第一甜菜砂糖四億キログラム「其價百」キログラムニ付七十佛トスレハ全價二億八千萬佛ナリ

第二甘蔗砂糖一億二千萬キログラム「其價百」キロニ付七拾佛トスレハ全額ハ乃チ八千四百萬佛ナリ

第三甜菜ヨリ採ル「メラツス」ハ二億キログラム「其價百」キロニ付拾貳佛トスレハ全價二千

四百萬佛

第四甜菜ノ殘滓家畜ノ食トナスモノ十六億「キロ」其價千「キロ」ニ付拾佛トスレハ千六百萬佛トナル

第五甜菜ノ泡肥料ニ用ユルモノ五億六千萬「キロ」其價千「キロ」ニ付四佛トスレハ二百二十四萬佛

以上五種ノ價ヲ合計スレハ四億〇六百二十四萬佛トナル

佛國內ニテ用ユル砂糖ハ其量甚タ多カラス一人ニ付七「キロ」ノ割合ナリ英國ニテハ一人ニ付十八「キロ」ニキユバ「島」ニ至リテハ一人四十七「キロ」ノ多キニ及フ

砂糖ハ製造所ニテノ原價ハ百「キロ」凡ソ七十佛ニ當ル「上」ノ如シト雖モ稅ノ重キカ爲メ倍シテ百五十佛ノ價トナル此レヲ以テ製造人等ハ務メテ外國ニ輸出スルヲ謀ラサルヲ得ス重モニ英、瑞、以、典、諾、露、土、耳、其、埃、及、及、ヒ、南、亞、米、利、加、ノ、諸、國、ニ、輸、出、ス

砂糖ヲ產スル「上」ノ如ク多シト雖モ猶外國ヨリ輸入スルモノ九千七百萬「キロ」ニ及フ是レハ假輸入ニシテ精製ノ後再ヒ輸出スルモノナリ



之レヲ要スルニ佛國及ヒ属地ニテ砂糖ノ製産高合計四億〇六百二十四萬佛ニ外國ヨリ假輸  
入ノモノ七千七百萬佛ヲ加フレハ賣買ニ渡ル砂糖ノ惣計ハ四億八千三百二十四萬佛ノ多キ  
ニ及フヲ見ルベシ

外國部中砂糖ノ出品亦尠ナカラス就中白露ヲ最トス

鹽モ亦砂糖ト同區ナリ佛國ニテ用ユルモノハ「ムールトエモゼル」州「ツープ」州ヨリ産スル石  
鹽ト「ブーシユ」州「アトラン」州「洋ノ海岸就中」レ「島」ラント「州」シアラントア  
ソ「フェリユール」州「ロワール」州ヨリ産スル海鹽ノ二種ナリ

海鹽ノ産額ハ時ニ應シテ異同アルト甚シ故ニ其價亦一定ナシ難シ原價百「キロ」ニ付貳佛半  
之レニ十二佛半ノ稅ヲ加ヘ拾五佛ヲ以テ平均トナスヲ得ベシ

千八百七十六年ノ調査ニヨレハ佛國ニテ消費セシ鹽ノ全量三億百三十二萬八千「キアンタ  
ル」其價四千五百十九萬九千二百佛輸出セシモノ百八十六萬二千「キアンタル」其價三百〇一  
萬九千佛ナリ故ニ鹽ノ賣買全額ハ四千八百二十一萬八千二百佛トナル

此外農業及ヒ工業ニ用ユル鹽ハ一億五千萬「キログラム」ナリ是レハ無稅トス

西洋ニテハ海邊ニ鹽溜メヲ作り日光ノ温熱ヲ借リテ鹽ヲ製ス其法我國ノ法ニ比スレバ大ニ  
便利ナリ澳國博覽會報告書ニ（ワック子ル氏報）告食料ノ部（詳ヒラカナリ）

佛國ノ製法ハ今度事務局員久保弘道成島謙吉ノ二人鯷魚製造取調ノ時製鹽ノ事ヲモ實地研  
窮シ別ニ報告書アリ故ニ爰ニ贅セス

第七十五小區中ニテ最要ナルハ葡萄酒及ヒ麥酒ナリ

葡萄ハ佛國ノ一大利源ニシテ之レヲ耕スノ地凡ソ二百六十萬「ヘクタール」アリ十年來葡  
萄酒産出ノ平均高一ヶ年五千六百三十八萬八千「エクトリットル」乃チ「ニ」「エクタール」ノ地ヨ  
リ二十一「エクトリットル」ヲ産スルノ割合ナリ十年ノ内千八百七十五年ハ八千三百六十三萬  
二千「エクトリットル」ヲ産出セリ是レ未曾有ノ巨額トス

佛國酒ノ中「ボルドレ」「ブルゴーギユ」及ヒ「シヤンパーギユ」ハ最モ著明ナリ是レハ其地味  
氣候ノ宜シキト葡萄樹ノ良種ナルトニ由ルナリ

「ボルト」酒ハ「シロンド」州ヨリ産ス毎年産出ノ高平均三百四十萬「エクトリットル」赤白共ニ  
有名ナル酒多シ



「ブルゴーギユ」酒ハ「コートドール」ローム「ソーヌエロワール」リヨンノ諸州ヨリ産ス一年平均ノ産額三百八十七萬四千「エクトリットル」ニシテ上中下等ノ酒アリ  
 「シャンパキユ」酒ハ「マルヌ」州ヨリ産ス一年平均ノ産額四千四百三十「エクトリットル」ニシテ北名字内萬國ニ高ク千八百六十七年ヨリ七十七年マデノ間一億四千七百〇二萬二千本ヲ輸出セリ  
 内國ノ需用ハ格別増減セシヲ無シ  
 此外各種ノ酒ヲ生スル地方甚々多シ  
 佛國中酒ノ製造人二百六十萬人大小ノ酒商三十萬人アリ千八百七十七年ノ歲出入ノ表中ニ飲料ノ稅ハ四億萬佛ナリ而シテ國中ノ都會ニテハ別ニ「オクトロイ」入府稅ナルモノヲ收ムルナリ「巴里府」ニテ千八百七十六年中飲料ヨリ收マリタル稅額ハ六千五百萬佛ニ及ベリ  
 佛國ニテ葡萄酒ヲ産スル「上」ノ如ク多シト雖モ「西」以、葡等ノ諸國ヨリ輸入スル葡萄酒モ亦多シ  
 近來「フヒロクセラ」ト唱フル小虫アリテ葡萄ニ大患ヲ爲セリ仍テ之レヲ防クノ良法ヲ講ス

レモ未タ之レヲ得ス

外國中出品ノ多キハ西班牙ヲ以テ第一トス以、葡、匈之レニ次キ米國モ亦「加利福尼州」産ノ葡萄酒ヲ出品セリ

麥酒ハ英、澳等ノ出品多シ

英國ニテハ今チ距ルコ十年前麥酒製造家三萬四千五百人アリシガ即今ハ二萬九千人ニ減シタリ大製造場六十所ニ在リ其製スル高ハ全國中惣製出高ノ半ハニ過ク此工業ニ從フ工人ハ五十萬人ニ近ク資本金ハ凡二億萬「ポンド」製出スル所ノ麥酒ハ重モニ自國ニテ消費ス輸出ノ高ハ五六億樽ニシテ重モニ印度其他ノ屬地ニ送ル

澳國ノ麥酒ハ甚々著名ナリ隨ツテ輸出頗ル多シ各所小工場ハ次第ニ減シテ大工場増加セリ故ニ工場ノ數ハ減スレモ製造ノ高ハ却ツテ多シ千七百七十六年ニハ製造人二千二百四十八名産出ノ高ハ千八百八十萬「エクトリットル」而シテ輸出セシモノハ二十九萬二千四百六十八「キヤンタル」ナリ而シテ翌年ノ輸出高ハ二十萬三千二百六十一「キヤンタル」ニ増加シタリ



## ○第七章 第八大區 農業

農産物中食用ニ供セザルモノハ第五大區第四十六小區ニ屬ス其食用ニ供スルモノハ第七大區ニ屬ス本區ニ屬スルハ農具農家ノ雛形(圖面)農産物、製造所ノ雛形、及ヒ器具等ト牛馬豚兔等ノ家畜トナ主トシ次ニ養蠶、養蜂、養魚ノ方法器具ニ及ベリ

農具ハ瀛力ヲ用テ運轉スル收穫機、播種機ノ如キ精好巨大ノモノ極メテ多シト雖モ一々之レヲ細舉シ難シ故ニ略ス

家畜ハ開場ヨリ閉場マテ其種類ニ應シテ別ニ會場ヲ設ケ十日乃至十五日間之レヲ縱覽セシメ直ニ褒賞ヲ頒與セリ牧畜ハ農業ノ一大要目ナレモ未タ我國ニ開ケス且ツ牧畜ノ要旨ハ澳

國博覽會農業部ニ詳ヒラカナリ就テ看ルベシ

養蠶術ハ我國ノ爲メ極メテ緊要ナレモ是亦澳國博覽會ノ報告書ニ詳記セリ

佛國農業ノ形況農學校及ヒ農業競争會ノ制ノ如キハ澳國博覽會報告書ニ載セタルノミナラス今度事務局員石原豐貫成島謙吉ノ二氏親シク佛國農務局員ニ就テ質問シ且ツ實際ヲ調査シテ詳細ノ報告アリ故ニ贅論スルヲ要セス今爰ニ白國農務ノ管理法ト農學校及ヒ勸農ノ制トヲ畧舉スベシ同國ハ境土狹少ナリト雖モ農業ノ盛ナルハ他ノ大國モ及バザルトコロアリ白國ニハ上等農業委員及ヒ地方農務委員アリ

上等委員ハ各地方委員ノ代員二名ツ、ヲ以テ編成スルモノニシテ外ニ國君ヨリ命スル委員若干名アリ但シ其數ハ地方委員代員總數ノ半ハニ過クルコトヲ得ス上等委員ノ職掌ハ政府ヨリ下問スル一切ノ條目ニ就キ意見ヲ開陳スルコト各地方委員ノ申告セル情願ヲ調査スルコト及ヒ上等委員中又ハ地方委員中ヨリ建議スル事件ヲ討論スルコトス毎年報告書一部ヲ刊行ス即今既ニ三十卷ニ及ベリ

地方農務委員ハ各州ニ在リ其人員ハ本州農區ノ數ニ同シ此外獸醫一名書記一名ノ屬員アリ



農區ハ全國九州合ハセテ百十八區ナリ

地方委員ハ國君ノ任スル所ニ係ル但シ各農區毎ニ其區ノ勸農會之レナキ時ハ農業會社又ハ其支社ヨリ撰舉セル二名ノ内一名ヲ採用スベキモノトス地方委員ノ職掌ハ本州農業ノ進歩改良ヲ助クベキ一切ノ事項ニ干スルモノニシテ凡ソ要用ト考フル條目ハ之レヲ政府ニ建議シ政府ヨリ下問スル事項ハ之レヲ調査シ又勸農ノ爲メ發布スル政令ハ務メテ之レヲ各地方ニ實行セシム毎年二月下旬ニ農業形況ノ報告書ヲ州令ニ進呈シ就中前年収納ノ豊凶及ヒ農業ニ干スル政令實行ノ淺深ヲ報告ス

各農區毎ニ勸農會又ハ農業會社ノ支社ヲ置ク

アンウエルス「ブラパン」フランドル、オリアンタル「リエージュ」ランブール「リュクサンブール」及ヒ「ナミュール」ノ七州ニテハ各州諸農區ノ勸農會相結ンテ大社ヲ成シ各週發行ノ農業新聞ヲ設ケ社員ニ願ツト云フ

白國全部農業社員ハ合セテ一萬七千名アリ

右ハ皆官許ヲ得タル會社ニシテ此外又純然タル私社數多アリ

園藝會社モ亦多ク其數五十ニ及ベリ但シ此中二十五社ハ相聯合シテ政府ノ保護ヲ受クト雖モ各個獨立自治ノ權アルナリ結社ノ目的ハ園藝ノ進歩ヲ勸導スルニ在リテ各社ヨリ委員ヲ差シテ年々相會議セシメ一切ノ行事ヲ記載スル報告書ヲ發行シ又園藝公會ヲ勸起ス即今マデ發行セシ報告書十五卷開行セシ公會二次ニ及ベリ

右ハ白國農業管理ノ大畧ナリ今農學校ニ關シテ左ニ數言ヲ述フ

白國ニテ農學校ヲ設ケシハ千八百四十九年以來ノ事ニシテ先ツ數所ノ學校ヲ試設シ經驗ヲ爲セル後チ八百六十年七月十八日ノ法令ヲ以テ之レヲ改正確定セリ此法ニ由レハ同國中ニ獸醫學校一所園藝實業學校二所農業學校一所ヲ設ケ獸醫學校ハ專ハラ家畜ノ種ヲ改良シ之レヲ増加保存スルニ必要ナル科目ヲ教ヘ論理ト現業トヲ兼テ修業期限四年トス園藝學校ハウイルウオールド「府」ニ一所「ガン」府ニ一所合セテ二ヶ所ニ設ケ其科目ハ佛語「フラマン」語、算術、幾何學、地理學、植物學、理學、化學、植物畫、温室及ヒ園庭建築法、園藝記簿法ニシテ修業期限ハ二年ナリ

農學校ハ「カンブルー」ニ在リ之レニ六十二「エクタール」ノ地面ヲ附シ現業ノ教授ニ供ス其耕



作ノ宜シキヲ得ルハ歳入ノ多キヲ以テ知ルベキナリ  
同校ノ科目ハ左ノ如シ

- 第一 田舎土工
- 第二 理學化學
- 第三 博物學
- 第四 牧畜術
- 第五 農學
- 第六 農業及ヒ山林上ノ經濟學農業法律農業上記簿法
- 第七 農業及ヒ園藝ノ現業

修業期限ヲ三年トス

本校ノ寄留生トナラントスル者ハ滿十六歳以上通學生タラントスル者ハ滿十八歳タルベシ  
政府ノ専門學校ニ入りシコナキカ又ハ學級ヲ得ルニ必要ナル考試ヲ歴シコ無キ者ハ佛語、  
算術、幾何學、地理學ノ試験ヲ爲シタル後入門ヲ許ス

毎年二千佛ノ金額ヲ備ヘ貧困ナル生徒中行跡方正進歩迅速ナル輩ヘ分配シテ其學資ヲ助ケ  
又卒業生徒中優等ノ者ヘハ特別ニ金額ヲ給シ外國ニ旅行シテ見聞ヲ廣フセシムルコアリ  
千八百七十六年ニハ生徒ノ數六十一人ナリシト云フ  
上ニ記スル學校ノ外講義會ノ設ケアリ

白國ニテ田舎ノ蹄鉄師ハ無學ノ者甚カラザルヲ憂ヘ此輩ヲ教導スルガ爲メ獸醫學校及ヒ他  
ノ數所ニ於テ蹄鉄術ノ講義會ヲ設ケタリ此會ハ毎年二月ニ當リテ之レヲ行フ臨席セントス  
ル者ハ預メ姓名ヲ通知セシメ修會ノ上聽聞者中教師ノ考試ヲ受ケント欲スル輩ハ之レヲ受  
ケテ證書ヲ得ベシ千八百七十六年ニハ證書ヲ受ケシモノ百九十七人アリ  
農業園藝及ヒ種樹種菜法ニ干シテモ亦同様ノ設ケアリ千八百七十六年ニハ百四十七ヶ所ニ  
於テ之ヲ行ヒ聽聞者一萬三千百四十七人アリタリ

以上ノ講義ニ會スル蹄鉄師及ヒ園藝家ハ鐵道運賃ヲ半減コシテ其往來ニ便ス

近來各州ノ農務委員及ヒ農業會社等ニテ小學校ノ科目ニ農業ヲ加ヘンコトヲ希望スルコト切ナ  
リ「フランドル、オクシダマンタル」州ニテハ既ニ此事ニ著手シ現ニ實効ヲ舉クルニ至レリ政府



ニ於テモ其要ヲ察シ千八百七十六年十二月二十日内務卿ヨリ諸州ノ令ニ告諭文ヲ送りタリ  
長文ナレバ此ニ載セズト雖其主意ハ小學校ノ科目ニ農事ヲ加フルヲ教師ヲシテ此任ニ堪  
ヘシムルカ爲メ師範學校ノ科目ヲモ改良スルヲ現今施行スル講義會ニ於テモ益農科ヲ盛ニ  
スルヲ學校ニ於テ農業器械等ノ見本ヲ備ヘ教師及ヒ生徒ヲシテ其用ヲ解セシムルヲ等ヲ勸  
獎スルニ在リ

牧畜ハ農業上極メテ緊要ナル地位ヲ占ムルヲ以テ歐州各國皆之レヲ勸獎セザルハナシ其法  
ハ大抵競争會ヲ設ケ牛馬等優等ノモノニ褒賞ヲ與フルニ在リ白國ニテモ亦其設ケアリ  
獸病ヲ預防遏止スルモ同シク要件ニシテ日常獸醫ヲシテ検査ヲ行ハシメ流疫ニ罹レル獸畜  
ハ之レヲ打殺セシムルナリ是レ固ヨリ公益ニ出ツルト雖其持主ノ損害甚ナカラザルニ依リ  
政府ヨリ若干ノ償金ヲ給補セザルベカラズ此件ニ付近來白國ニ行ハル、一法アリ左ノ如シ  
獸畜ヲ打殺セシムル時ハ政府ニ於テ若干ノ償金ヲ給スルハ上ニ記スルガ如シト雖其固ヨリ  
損害ノ一分ヲ償フニ過ヤズ是レヲ以テ別ニ積金ヲ設ケテ此用ニ充テントノ議起レリ  
「フランドルオクシダントアル」ノ州會ニ於テハ千八百三十七年ヨリ規則案ヲ制シ同四十年ニ

至リテ之レヲ施行セシガ同四十三年五十六年六十四年及ヒ七十七年ニ於テ之レヲ改正シ即  
今行フ所ノ規則ニ由レハ家畜ノ種類ニ應シ薄少ノ稅ヲ拂ハシメ之レヲ積ンテ前文ノ償金ニ  
充ツルニ在リ且ツ其州ノ農務委員同意ナレハ此金ヲ他ノ勸農上ノ事件ニ用ユルモ妨ケ無シ  
トス打殺セシ家畜ニ與フル償金ハ評價人ノ用立タル價額ノ半ニ過クルヲ得サルノ規則ナリ  
千八百六十年「フランドルオリヤンタル」州ニテモ同一ノ規則ヲ設ケシカ同六十四年之レヲ  
廢セリ農事ニ注意スル人ハ之レヲ歎ゼザルモノ無ク其再立ヲ望ムモノ甚々多シ

千八百七十一年有志者二百餘名相結ンテ農業試驗所設立會社ト唱フル一社ヲ結ベリ其主意  
ハ化學試驗場ヲ立テ農業家ノ爲メ肥料及ヒ農産物ヲ分拆検査スルニ在リ第一試驗場ハ千八  
百七十二年「カンブル」ニ設ケ著名ノ化學者「ペートルマン」氏ヲ以テ其長トナセリ建設以來  
同所ニ於テ施行シタル分拆ノ數漸次増加スルヲ見レハ以テ其益ノ多キヲ推知スルニ足レリ

千八百七十二年

九四

同 七十二年

三二九

同 七十四年

四九二



同 七十五年

五五三

同 七十六年

六〇六

政府ハ其農業ニ益アルヲ知リ右試験所建築ノ入費補助トシテ二萬佛ヲ與ヘ又毎年一萬佛ノ資本ヲ給與ス

右第一ノ試験場ニテ其功ヲ奏セシニヨリ第二ノ試験場ヲ「ガン」府ニ設ケタリシガ其建築ノ爲メ政府ヨリ一萬佛州廳ヨリハ三千佛ヲ出シテ經費ヲ助ケタリ分拆料ハ甚タ廉下ナルノミナラス社員ニハ又二割五分ヲ減ス

爾來「ハッセルト」及ヒ「ソエイジユ」府ニモ試験場ヲ設ケタリ

近時白國政府ニ於テ勸農ノ爲メ施シタル處置頗ル多シ今其二三ヲ舉ケン

千八百四十八年農夫及ヒ工人ノ行跡方正忠實ナルカ又ハ特ニ其業ニ長スル者ニ與フル勳章ヲ設ケタル事

同年農業叢書ト題シ農事ニ干スル有用ノ書籍ヲ刊行シ農夫ニハ減價ヲ以テ賣渡シタル事  
千八百五十五年穀物ノ輸入税ヲ廢セシ事

同「ガンブル」農學校ニ農産物博物館ヲ開キタル事

千八百七十年糧稅ヲ廢セシ事

千八百七十七年農産物及ヒ肥料ノ鐵道運賃ヲ減セシ事

即今農業法典ノ設定評議ノ事

白國ニ於テハ農業ニ關スル新聞雜報ノ類二十六種アリ

外國部中以國米國ノ如キハ出品頗ル盛ニシテ英國ハ別ニ一館ヲ設ケテ農具ヲ陳列シ壯觀ヲ極メタリ

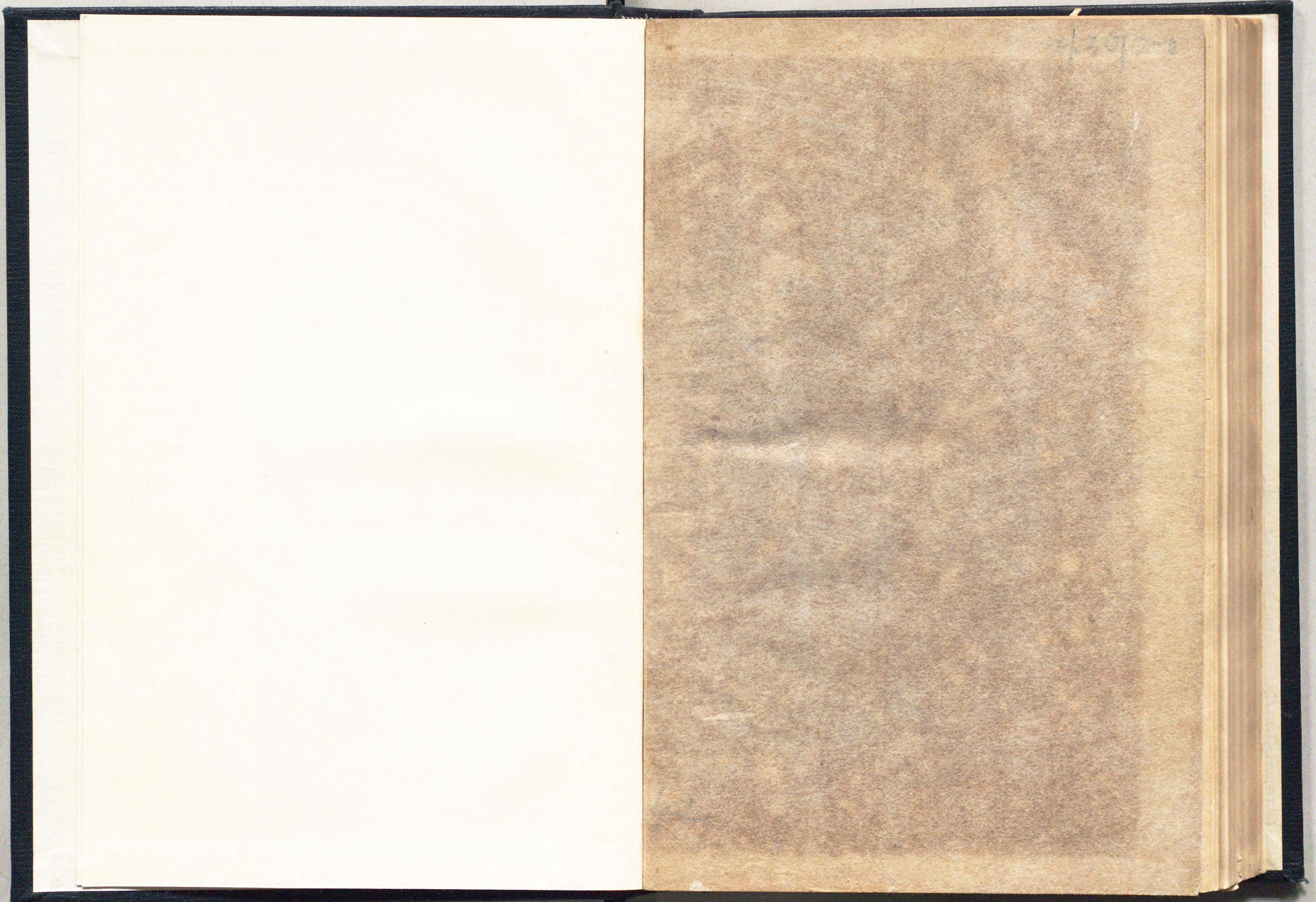
然レモ其之レヲ記スルヤ冗長ニ涉ルノ恐レアリ故ニ爰ニ細記セズ



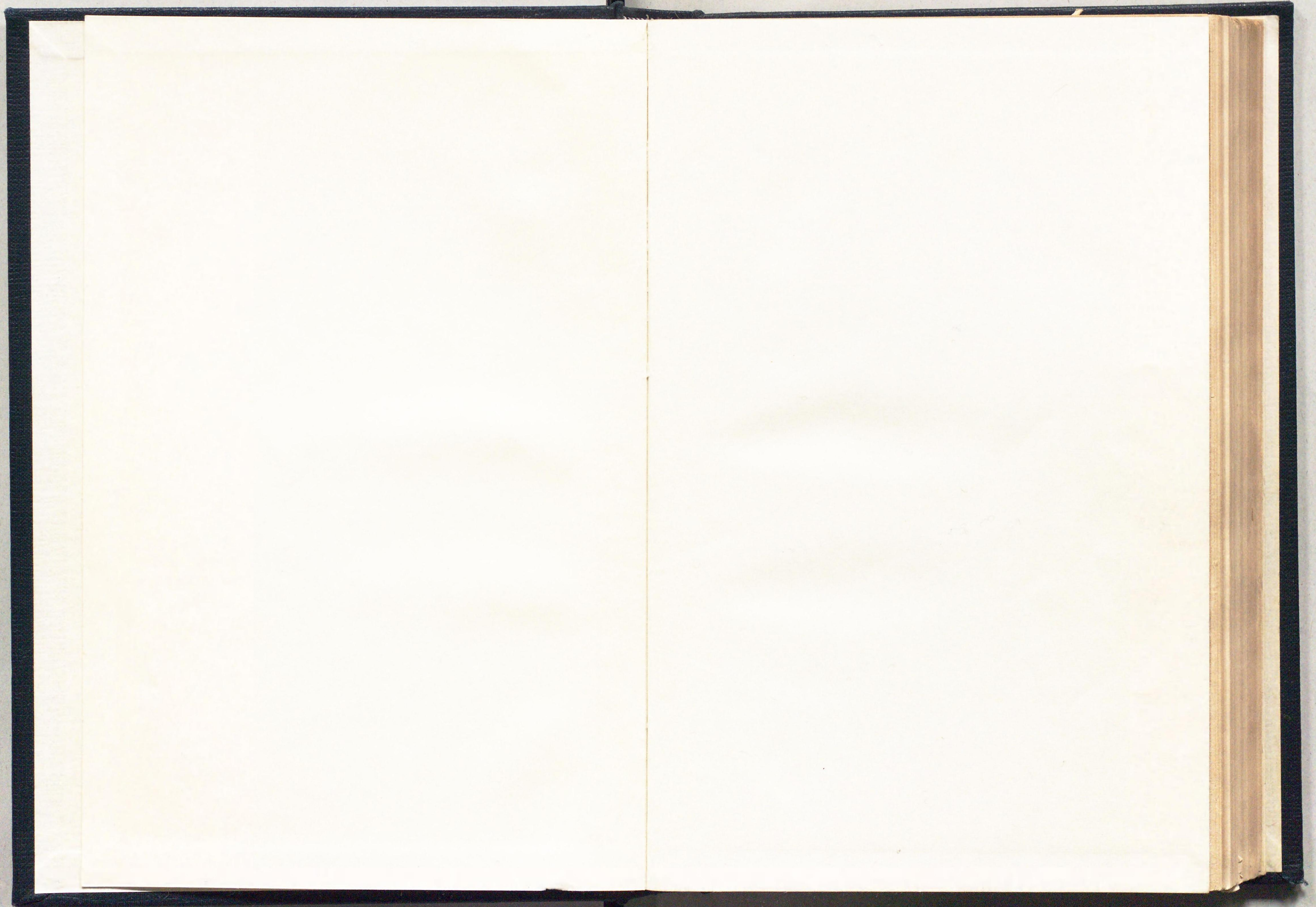
明治十三年二月印行

佛國博覽會事務局藏版

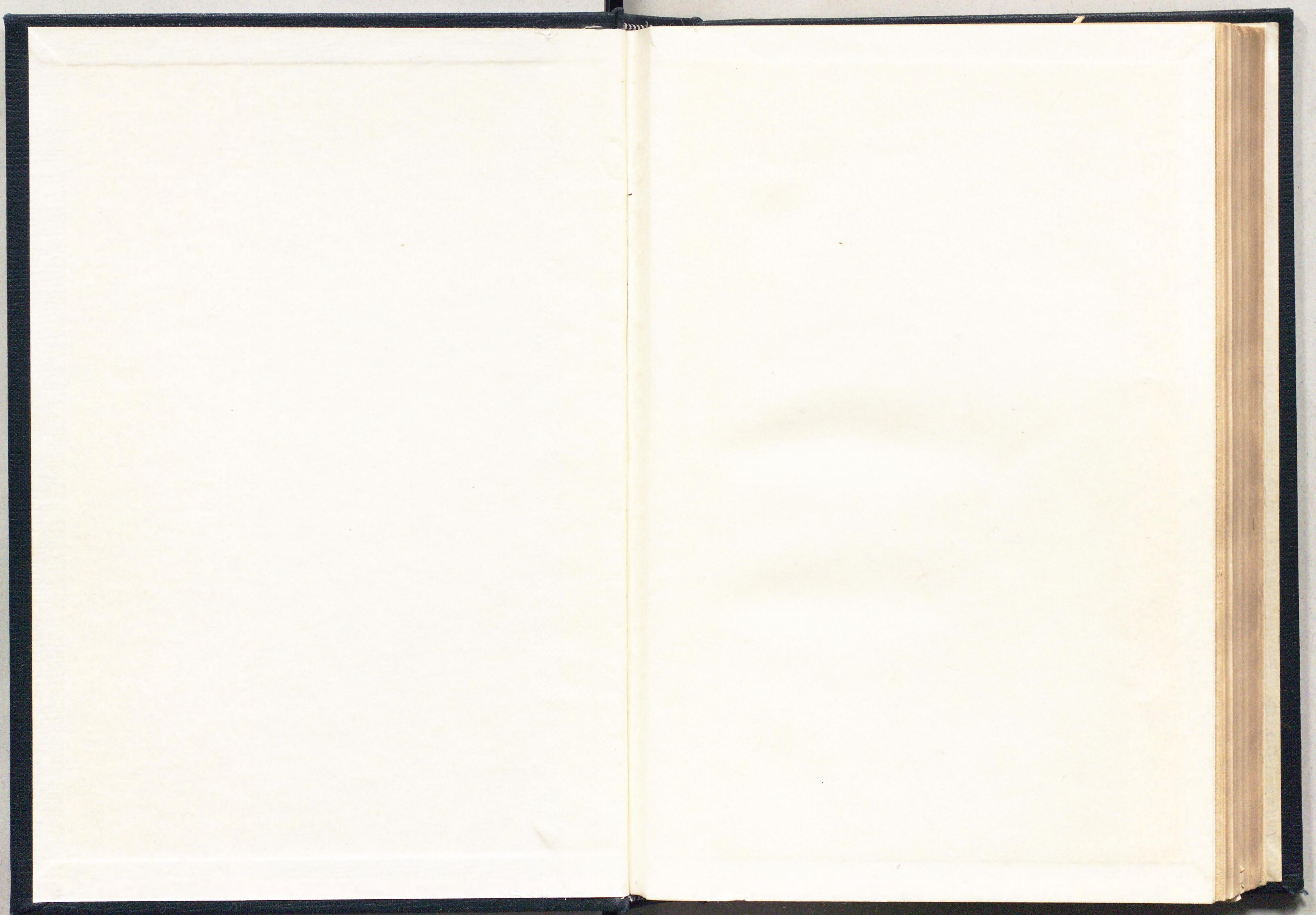




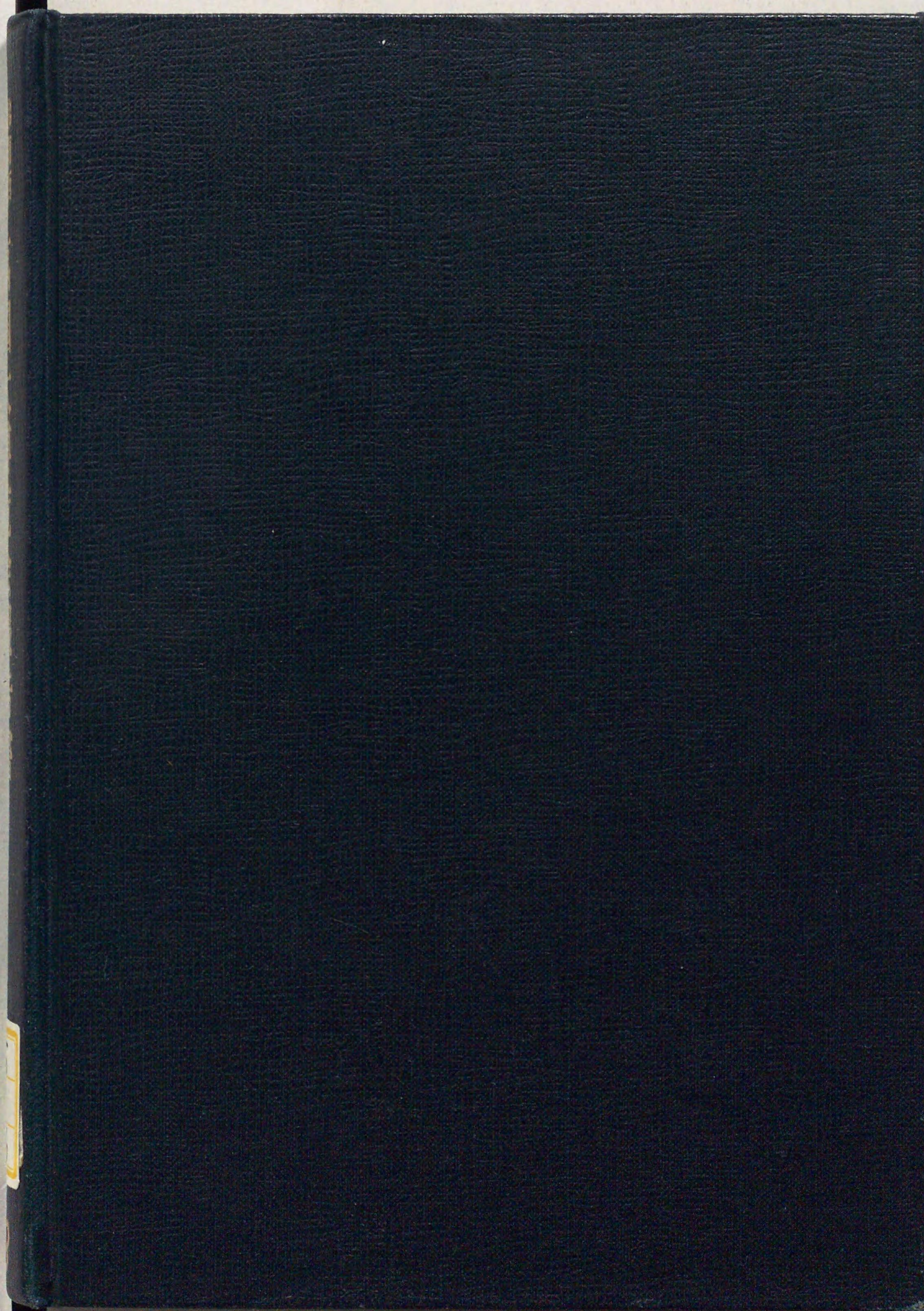












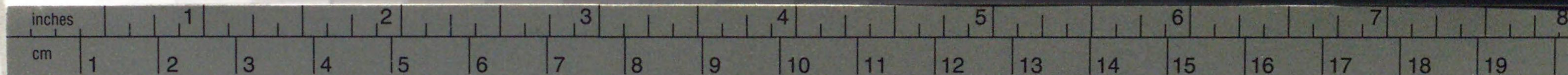
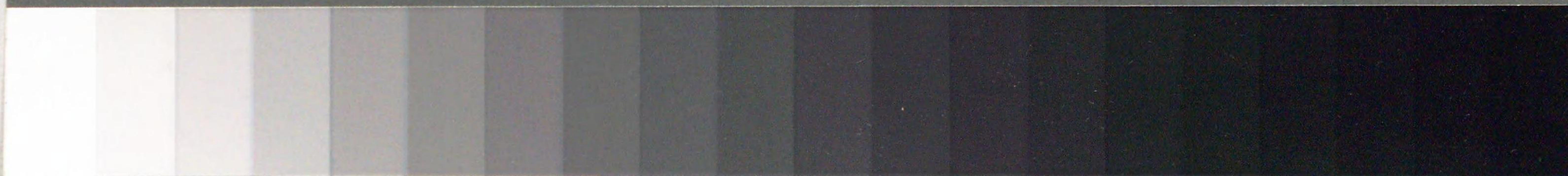


# Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

**A** 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



# Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

